

## Wax-Up ・ FCZ Abutment crown / ワックスアップ・FCZ アバットメントクラウン

- FCZ Abutment crown Scan / FCZ アバットメント クラウン スキャン
- FCZ Abutment crown Design / FCZ アバットメント クラウン デザイン



*Wax-Up · FCZ Abutment crown / ワックスアップ・FCZ アバットメントクラウン*

- *FCZ Abutment crown Scan / FCZ アバットメント クラウン スキャン*





修復物のデザイン

スキャンから模型を製作

模型のスキャンと送信

症例のインポート

## 【新規スキャンを開始する場合】

スキャン・ウィンドウから修復物のデザインを選択します

以下情報を各項目に入力し、【次へ】をクリックします

**患者：(必須項目)**  
患者名を入力します

**症例ID：**  
患者毎に割り当てられたカルテNo等を入力します(※省略可)

**期日：**  
入力した年月日から、ソフトウェアが期日を計算します(※省略可)

**歯科医院：郵便番号(必須項目)**  
歯科医院名を入力いたします。


**歯科技工所または歯科医院：**  
歯科技工所または歯科医院名を入力いたします(※省略可)

症例を追加 × キャンセル

### 症例情報

患者 (必須項目)

症例ID

期日  
25 3月 2019 

### 歯科医の情報

歯科医名 (必須項目) 郵便番号 (必須項目)

歯科技工所または歯科医院

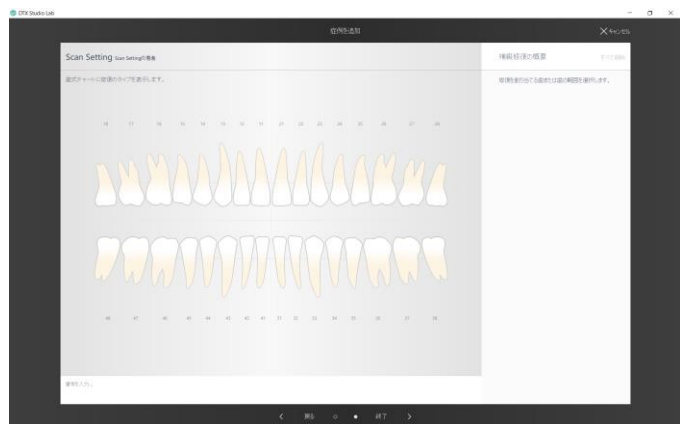
● ○ 次へ >



Kavo LS3 Scanner

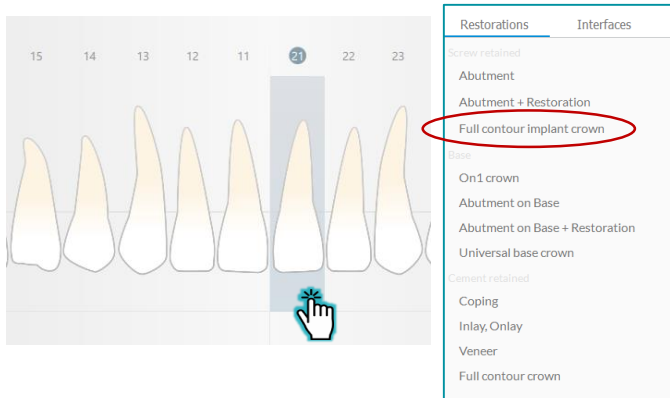
【新規スキャンを開始する場合】

スキャン・セッティング・ウィンドウから修復物のデザインを選択します



製作する部位にカーソルを合わせ、製作部位の背景色を反転させクリックすると、修復物選択ウィンドウが表示されます。

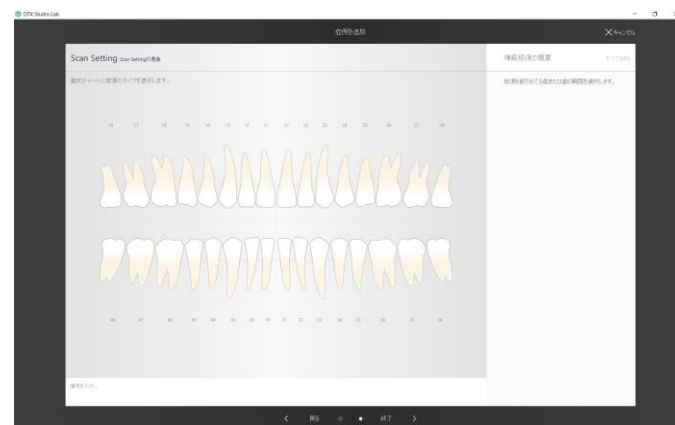
【Full contour implant crown】を選択します



Genion 2 Scanner

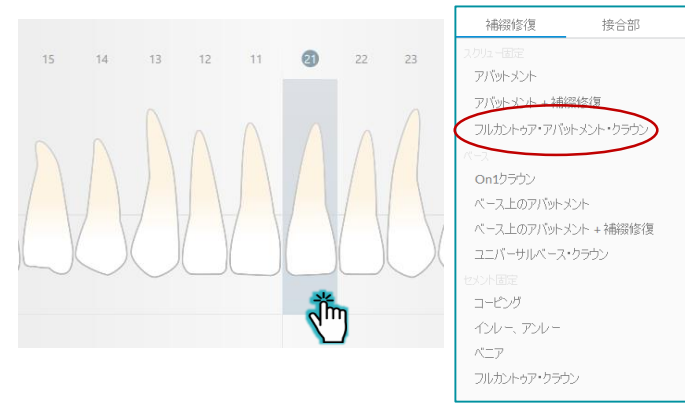
【新規スキャンを開始する場合】

スキャン・セッティング・ウィンドウから修復物のデザインを選択します



製作する部位にカーソルを合わせ、製作部位の背景色を反転させクリックすると、修復物選択ウィンドウが表示されます。

【フルコントゥア・アバットメント・クラウン】を選択します

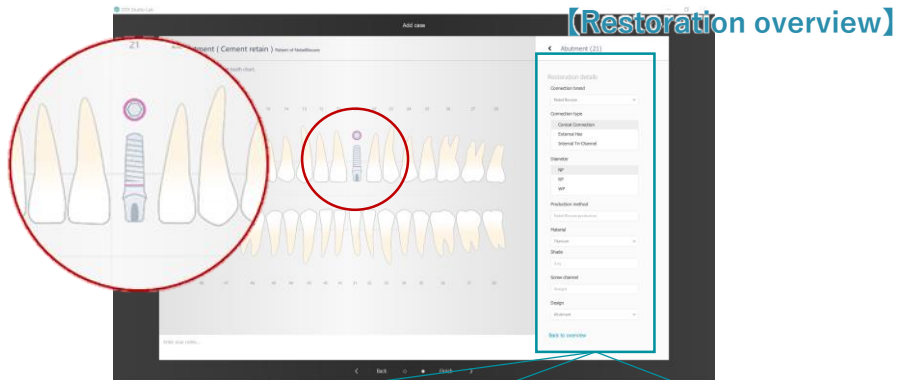




Kavo LS3 Scanner

【Restoration overviewの概要】

【Restoration overview】設定を行うと、歯式の画像が切り変わります



Restoration details

Connection brand  
Nobel Biocare

Connection type  
Conical Connection  
External Hex  
Internal Tri-Channel

Diameter  
NP  
RP  
WP

Production method  
Nobel Biocare production

Material  
Zirconia

Shade  
White

Screw channel  
Straight

Design  
Abutment

インプラントを選択します

製作方法、材質、色調を選択いたします

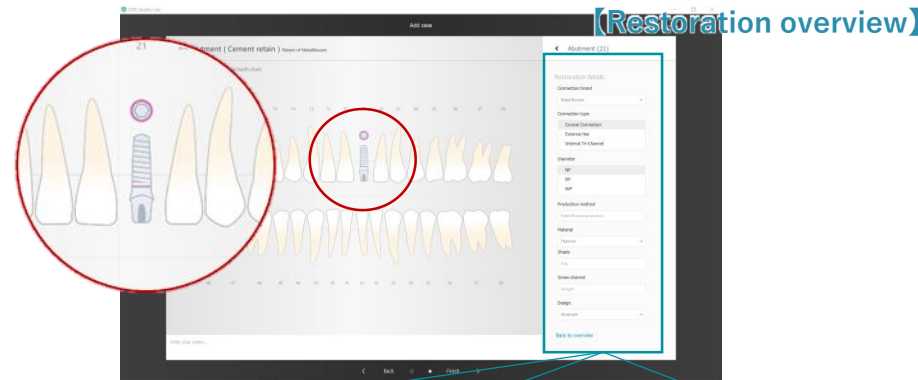
スクリーアクセスホール、形状を選択いたします



Genion 2 Scanner

【Restoration overviewの概要】

【Restoration overview】設定を行うと、歯式の画像が切り変わります



コネクションのメーカー名  
Nobel Biocare

コネクションのタイプ  
Conical Connection  
External Hex  
Internal Tri-Channel

直径  
NP  
RP  
WP

製作方法  
Nobel Biocare production

材質  
Zirconia

シェード  
Medium

スクリーチャンネル  
Straight

デザイン  
アバットメント

インプラントを選択します

製作方法、材質、色調を選択いたします

スクリーアクセスホール、形状を選択いたします



Kavo LS3 Scanner

## 【Restoration overviewの概要】

【Restoration overview】設定の詳細項目

### 修復の詳細

Restoration details

Connection brand

Connection type  
 Conical Connection  
 External Hex  
 Internal Tri-Channel

Diameter  
 NP  
 RP  
 WP

Production method

Material

Shade

Screw channel

Design

[Back to overview](#)

- Connection brand
  - ・ Alpha-Bio Tec (現在製作不可)
  - ・ NobelBiocare
- Connection type
  - ・ 選択したシステムに準ずる
- Diameter
  - ・ 選択したシステムに準ずる
- Production method
  - ・ NobelBiocare Production center only
- Material
  - ・ Titanium
  - ・ Zirconia
- Shade
  - ・ 選択されたProductに準ずる
- Screw channel
  - ・ Straight
  - ・ Straight metal adapter (NobelBiocare CC のみ)
  - ・ Angulated (NobelBiocare CC のみ)
- Design
  - ・ Abutment (Cement retain)
  - ・ Screw retain crown



Genion 2 Scanner

## 【Restoration overviewの概要】

【Restoration overview】設定の詳細項目

### 修復の詳細

コネクションのメーカー名

コネクションのタイプ  
 Conical Connection  
 External Hex  
 Internal Tri-Channel

直径  
 NP  
 RP  
 WP

製作方法

材質

シェード

スクリーチャンネル

デザイン

- コネクションのメーカー名
  - ・ Alpha-Bio Tec (現在製作不可)
  - ・ NobelBiocare
- コネクションのタイプ
  - ・ 選択したシステムに準ずる
- 直径
  - ・ 選択したシステムに準ずる
- 製造方法
  - ・ NobelBiocare Production center only
- 材質
  - ・ Titanium
  - ・ Zirconia
- シェード
  - ・ 選択されたProductに準ずる
- スクリュー・チャンネル
  - ・ Straight
  - ・ Straight metal adapter (NobelBiocare CC のみ)
  - ・ Angulated (NobelBiocare CC のみ)
- デザイン
  - ・ アバットメント (セメント固定)
  - ・ スクリュー固定によるクラウン



Kavo LS3 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

## 修復の詳細

Restoration details

Connection brand  
Nobel Biocare

Connection type  
Conical Connection  
External Hex  
Internal Tri-Channel

Diameter  
NP  
RP  
WP

Production method  
Nobel Biocare production

Material  
Zirconia

Shade  
Medium

Screw channel  
Straight

Design  
Screw retained crown

[Back to overview](#)

例：(本項での手順)  
ZirconiaのCement retain abutmentを、  
Wax-Upフレームを読み取って製作する場合  
( NobelBiocare インプラントシステムを使用 )

- Connection brand  
・ NobelBiocare
- Connection type  
・ Conical Connection
- Diameter  
・ NP/RP/WP
- Production method  
・ NobelBiocare Production
- Material  
・ Zirconia
- Shade  
・ 8色シェードから選択
- Screw channel  
・ Straight metal adapter / Angulated
- Design  
・ Screw retain crown



Genion 2 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

## 修復の詳細

コネクションのメーカー名  
Nobel Biocare

コネクションのタイプ  
Conical Connection  
External Hex  
Internal Tri-Channel

直径  
NP  
RP  
WP

製作方法  
Nobel Biocare production

材質  
Zirconia

シェード  
Medium

スクリーチャンネル  
Straight

デザイン  
アバットメント

例：(本項での手順)  
ZirconiaのCement retain abutmentを、  
Wax-Upフレームを読み取って製作する場合  
( NobelBiocare インプラントシステムを使用 )

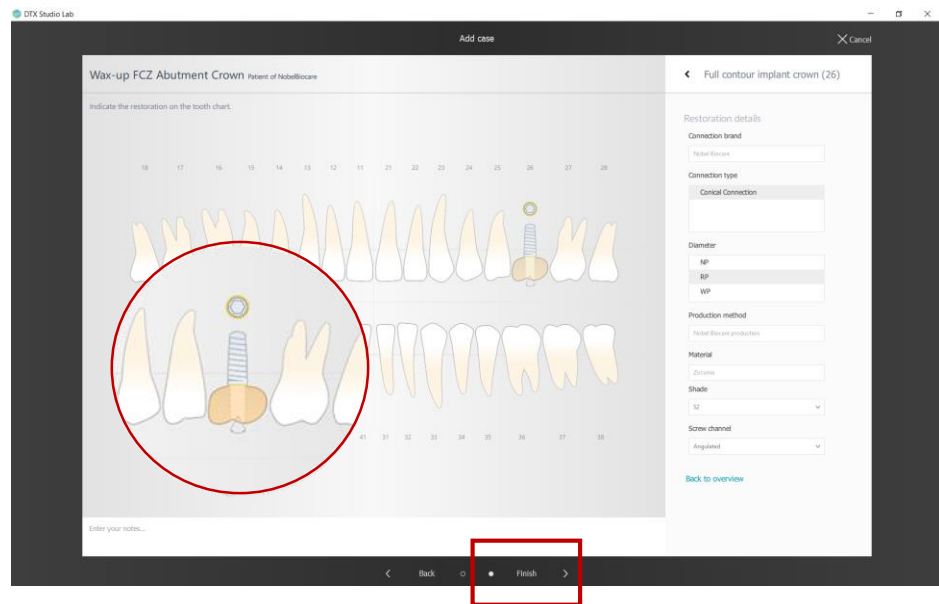
- コネクションのメーカー名  
・ NobelBiocare
- コネクションのタイプ  
・ Conical Connection
- 直径  
・ NP/RP/WP
- 製作方法  
・ NobelBiocare Production
- 材質  
・ Zirconia
- シェード  
・ 8色シェードから選択
- スクリュー・チャンネル  
・ Straight metal adapter / Angulated
- デザイン  
・ スクリュー固定によるクラウン



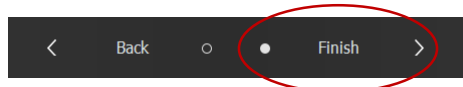
Kavo LS3 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

設定を行うと、歯式内の図も変更されます



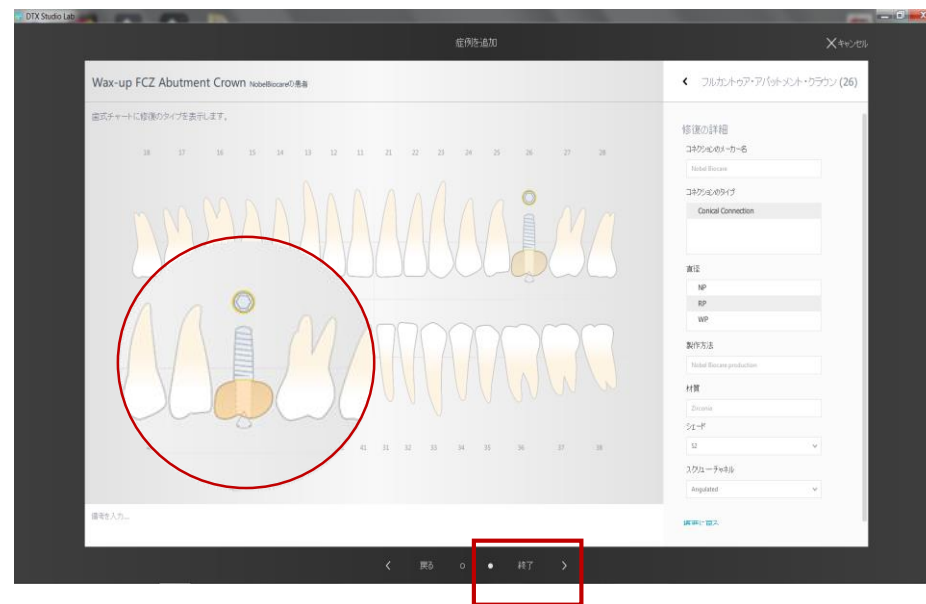
設定が完了したら、画面下の【Finish】ボタンで終了します



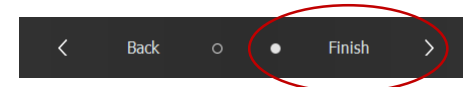
Genion 2 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

設定を行うと、歯式内の図も変更されます



設定が完了したら、画面下の【Finish】ボタンで終了します





# DTX Studio™ Lab 1.10

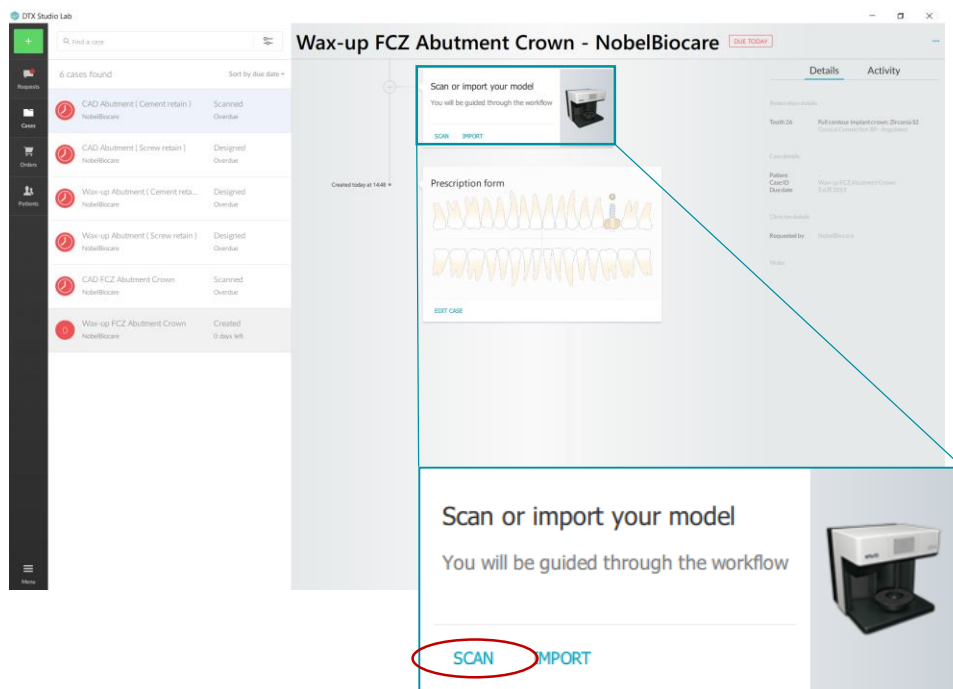
● FCZ Abutment crown Scan / FCZ アバットメント クラウン スキャン



Kavo LS3 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

DTX STUDIO Lab のトップページに切り変わります



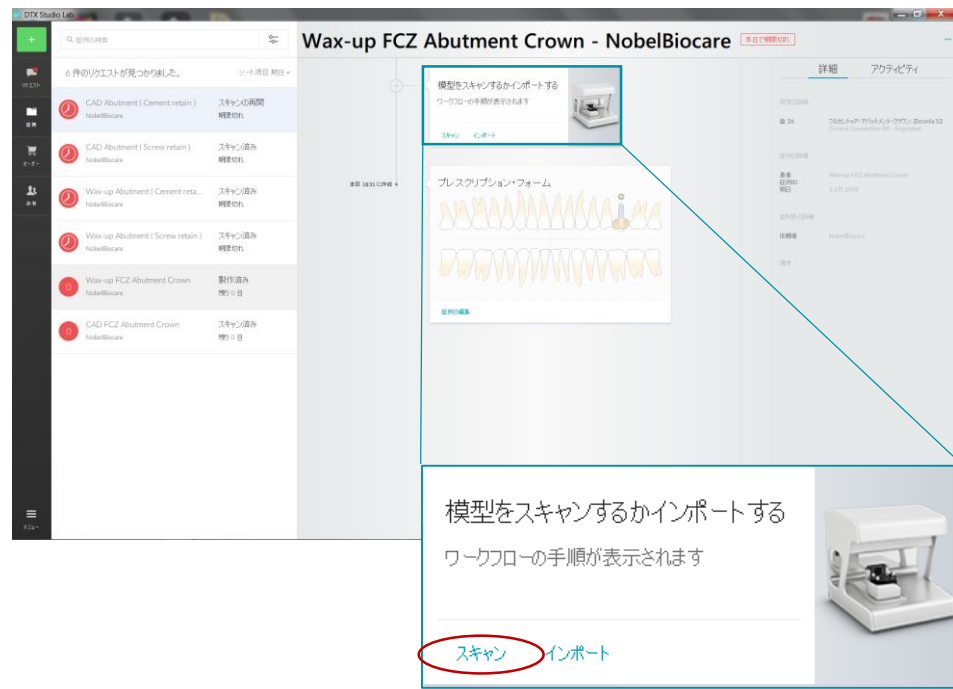
上段の、【SCAN】ボタンから、スキャンを開始します



Genion 2 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

DTX STUDIO Lab のトップページに切り変わります



上段の、【スキャン】ボタンから、スキャンを開始します

Scan



## 【新規スキャンを開始する場合】

スキャンする模型の準備：

- 作業模型
  - ・ Wax-Up フレーム
  - ・ 分割模型が望ましい
  - ・ ガム材使用が望ましい
- アバットメントポジションロケーター



作業模型 & Wax-Up フレーム



Nobel Biocare Conical Connection インプラント用  
アバットメントポジションロケーター



## Kavo LS3 Scanner

### 【新規スキャンを開始する場合】

スキャンする模型の準備：

モデルホルダーにスキャン模型を固定し、LS3 スキャナーへ装着します。 ※図1

KaVoプロター咬合器専用のマウンティングプレート装着している場合は、直接スキャナーに装着します ※図2

図1



モデルホルダへの装着例

図2



KaVoプロター咬合器専用のマウンティングプレートへ装着例



## Genion 2 Scanner

### 【新規スキャンを開始する場合】

スキャンする模型の準備：

モデルホルダーG2にスキャン模型を固定し、Genion2 スキャナーへ装着します。

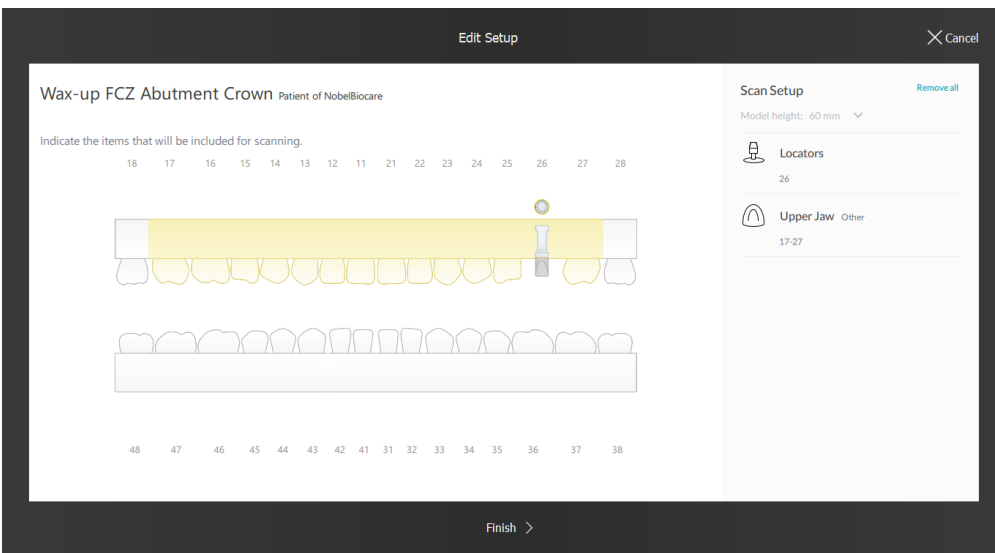




Kavo LS3 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

Scanの設定を行います



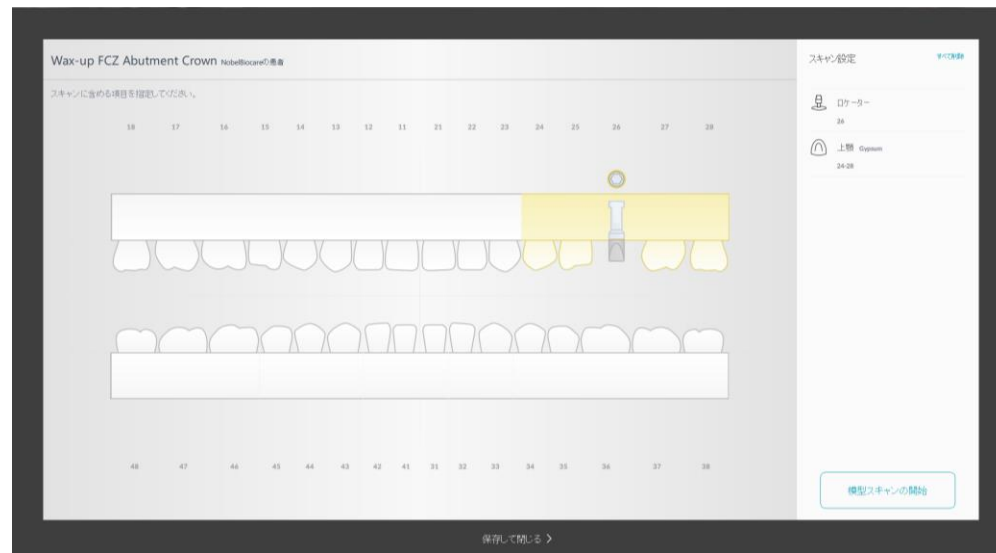
図のように、デフォルトでスキャン項目と範囲が選択されています



Genion 2 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

Scanの設定を行います



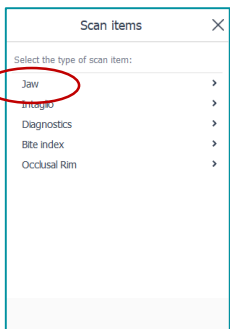
図のように、デフォルトでスキャン項目と範囲が選択されています



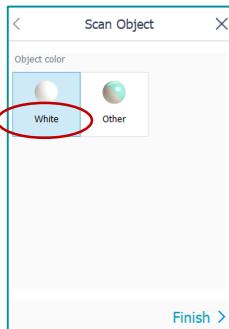
Kavo LS3 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

顎のScan範囲設定を行います (修復する顎)



Scan itemsから  
【Jaw】を選択します



Scan Objectを  
選択し【Finish】をク  
リックし終了します



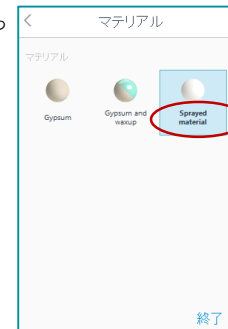
Genion 2 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

顎のScan範囲設定を行います (修復する顎)



スキャン・アイテムから  
【顎】を選択します



マテリアルを  
選択し【終了】をクリッ  
クし終了します



Kavo LS3 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

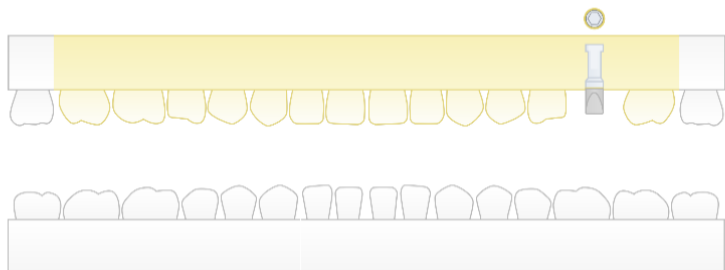
顎のScan範囲設定を行います (修復する顎)

顎のスキャン範囲の設定完了

Wax-up FCZ Abutment Crown Patient of NobelBiocare

Indicate the items that will be included for scanning.

18 17 16 15 14 13 12 11 21 22 23 24 25 26 27 28



48 47 46 45 44 43 42 41 31 32 33 34 35 36 37 38



Genion 2 Scanner

Scan

【新規スキャンを開始する場合】

顎のScan範囲設定を行います (修復する顎)

顎のスキャン範囲の設定完了

Wax-up FCZ Abutment Crown NobelBiocareの患者

スキャンに含める項目を指定してください。

18 17 16 15 14 13 12 11 21 22 23 24 25 26 27 28



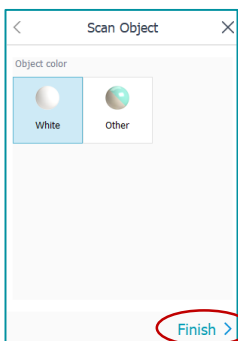
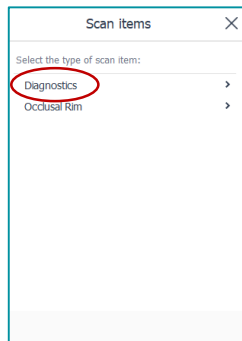
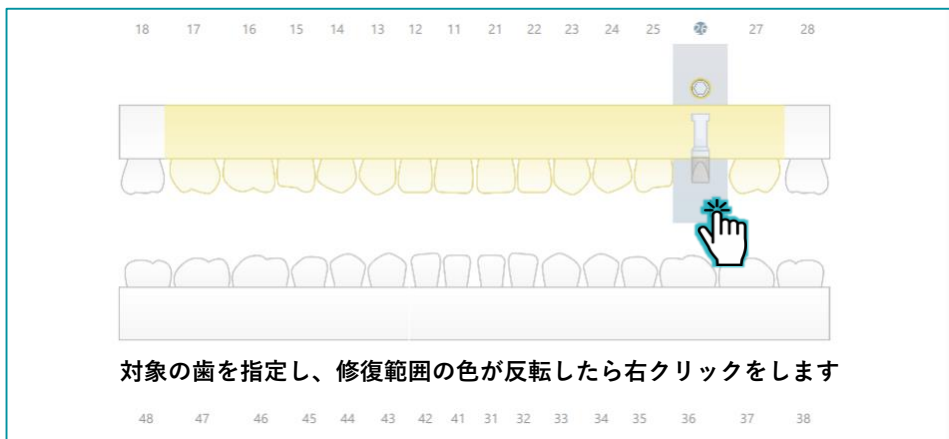
48 47 46 45 44 43 42 41 31 32 33 34 35 36 37 38



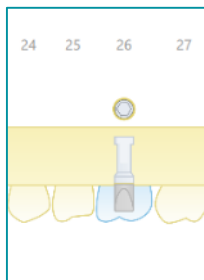
Kavo LS3 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

Wax-UpのScan範囲設定を行います



- ・ Scan itemsから【Diagnostics】を選択します
- ・ マテリアルから項目を選択し【終了】を左クリックします



ワックスアップの表示が追加されます



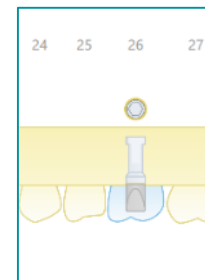
Genion 2 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

ワックスアップのScan範囲設定を行います



- ・ スキャン・アイテムから【診断】を選択します
- ・ マテリアルから項目を選択し【終了】を左クリックします



ワックスアップの表示が追加されます

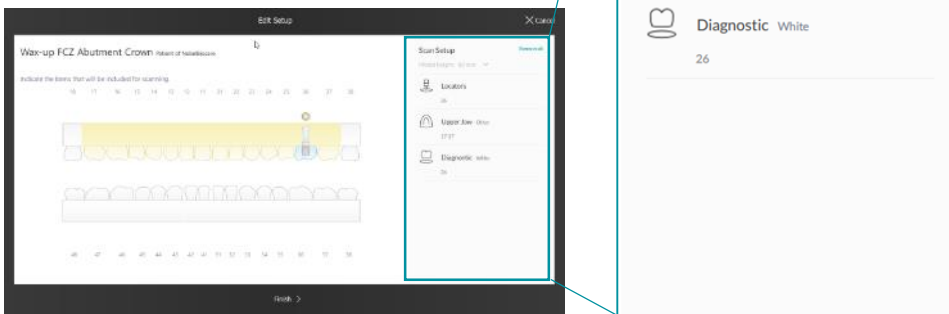


Kavo LS3 Scanner

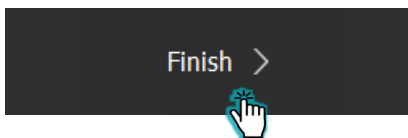
【新規スキャンを開始する場合】

Scanの設定を行います

設定を行うと同時に、Scan Setupの項目が追加され、Scanの準備が整います



設定が完了したら、画面下の【Finish】をクリックし設定を完了します

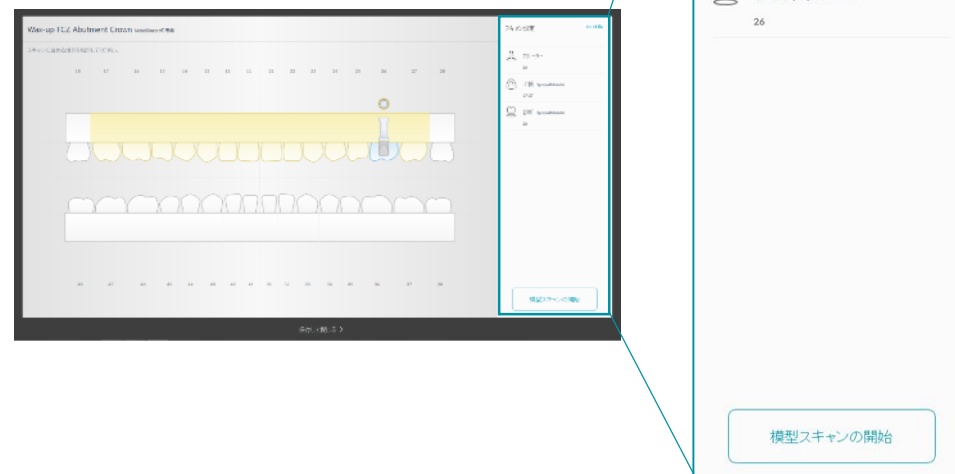


Genion 2 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

Scanの設定を行います

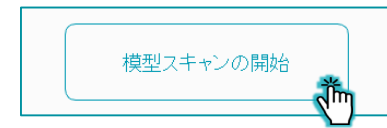
設定を行うと同時に、スキャン設定の項目が追加され、Scanの準備が整います



設定が完了し保存したい場合は、画面下の【保存して閉じる】をクリックし設定を保存します。



設定が完了しスキャンに移動したい場合は、スキャン設定下部の【模型スキャンの開始】をクリックします。







Kavo LS3 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

Scanを行います

Scan画面が開きます

Scan Tasksに表示されている順番(上から下)でScanを行ってください。  
各項目の【Scan】をクリックするとScanを開始します。



スキャナータッチパネルからもスキャンを開始できます。  
各項目をタッチし、さらに【Scan】をタッチするとスキャンを開始します



Genion 2 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

Scanを行います

Scan画面が開きます

領域指定オブジェクトが表示されますので、スキャン対象物に領域指定を行いScanを行ってください。  
各項目画面下の【>】を左クリックするとScanが開始します。



スキャン対象物に領域指定を行い  
Scanを開始します

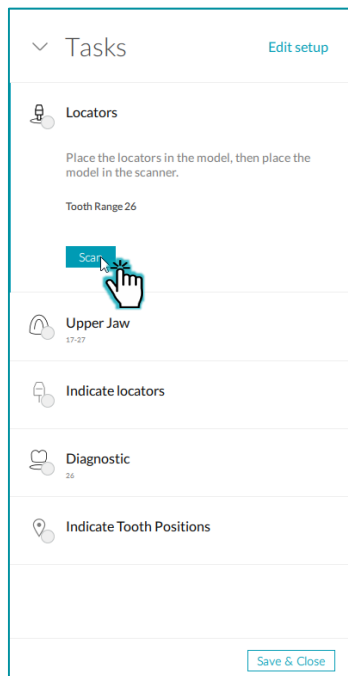


Kavo LS3 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

Scanを行います

Locators項目の【Scan】をクリックしScanを開始します



模型にロケーターを装着した状態でScanを行います。ロケーターがレプリカにしっかり適合している事を確認するため、ガム材を外してスキャンする事を推奨します



Scanner タッチパネルからもスキャンを開始できます。

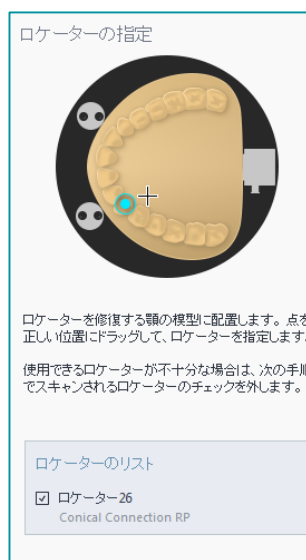


Genion 2 Scanner

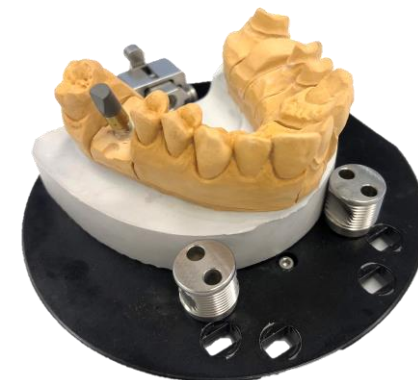
【新規スキャンを開始する場合】

Scanを行います

ロケーターのスキャンを開始します



模型にロケーターを装着した状態でScanを行います。ロケーターがレプリカにしっかり適合している事を確認するため、ガム材を外してスキャンする事を推奨します



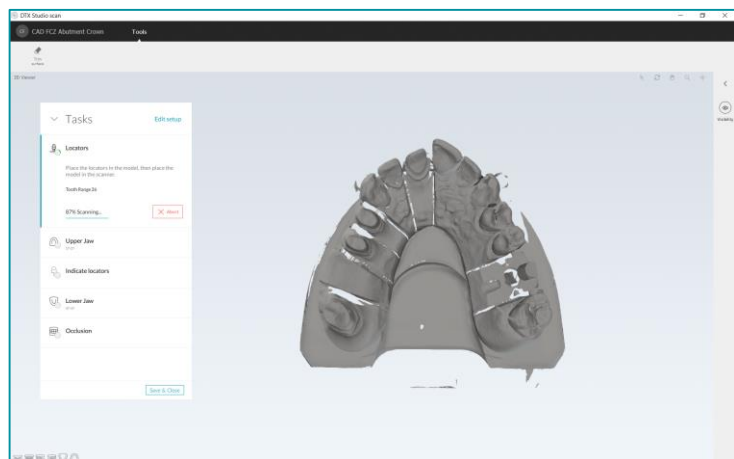
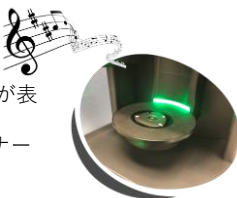


Kavo LS3 Scanner

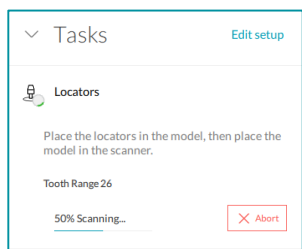
【新規スキャンを開始する場合】

Scanを行います

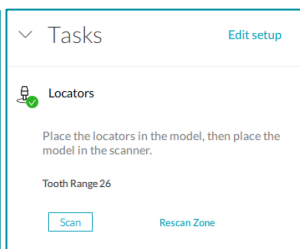
Scanを実行すると、TasksにScanning 進行率が表示され、画面中央に3Dデータが表示されます。Scanが終了すると、効果音とともに、スキャナーが緑色に光ります



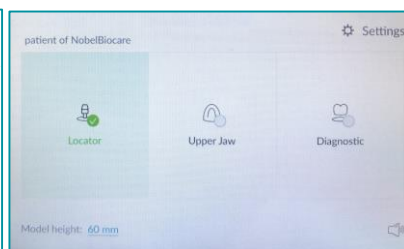
Scanが終了すると、項目アイコンの横にチェックマークが点灯します



Scan進行中の画面  
(ソフトウェア側)



Scan終了時の画面  
(ソフトウェア側)



Scan終了時の画面  
(スキャナー側)

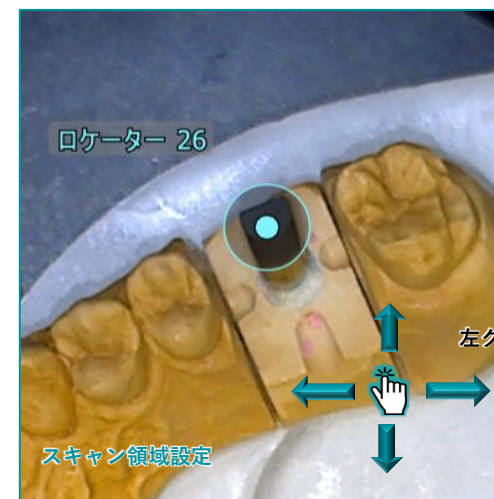


Genion 2 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

Scanを行います

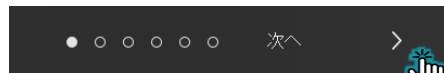
ロケータースキャン画面が表示されたら、模型の設定、スキャン領域設定を行い画面下の【次へ】をクリックしScanを開始します



Scan対象物に領域指定を行い、画面下の【>】を左クリックすると、Scanを開始します



左ドラック：  
ポイントをつかみ、移動します



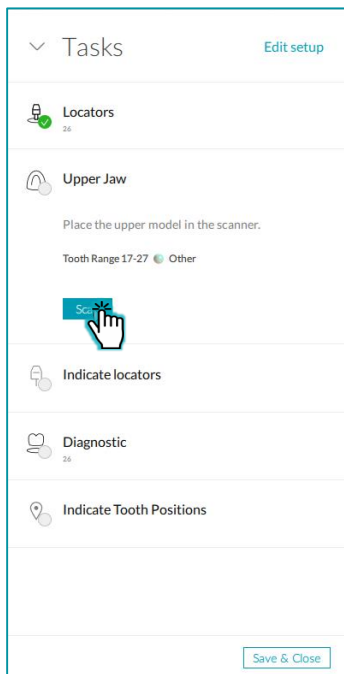


Kavo LS3 Scanner

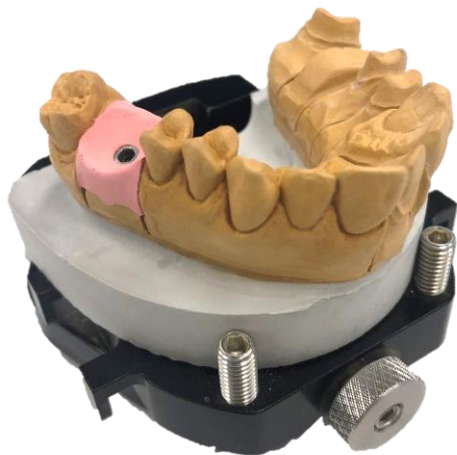
### 【新規スキャンを開始する場合】

Scanを行います

Upper Jaw(修復側の顎)項目の **【Scan】** をクリックしScanを開始します



ロケーターを除去し、ガム材を装着した状態でScanを行います。



Scanner タッチパネルからもスキャンを開始できます。



Genion 2 Scanner

### 【新規スキャンを開始する場合】

Scanを行います

ロケーターのスキャン



Scanが進行すると、スキャン経過とともにドットが表示されます。

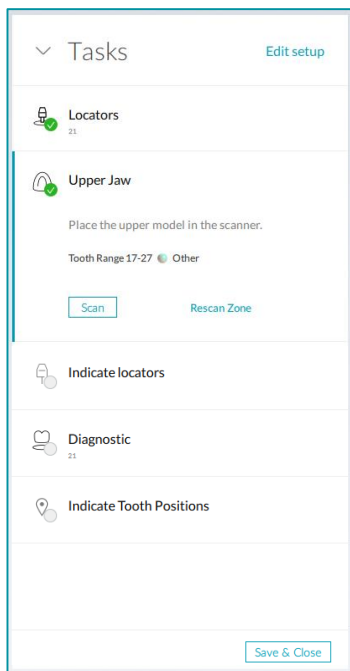


Kavo LS3 Scanner

### 【新規スキャンを開始する場合】

Scanを行います

Upper Jaw(修復側の顎) のスキャン完了



### カラーズキャンを行った場合



Genion 2 Scanner

### 【新規スキャンを開始する場合】

Scanを行います

ロケーターのスキャン完了



Scanが終了したら、画面下の【>】を左クリックすると、次の項目へ移動します



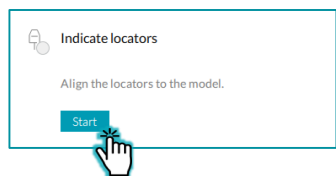


Kavo LS3 Scanner

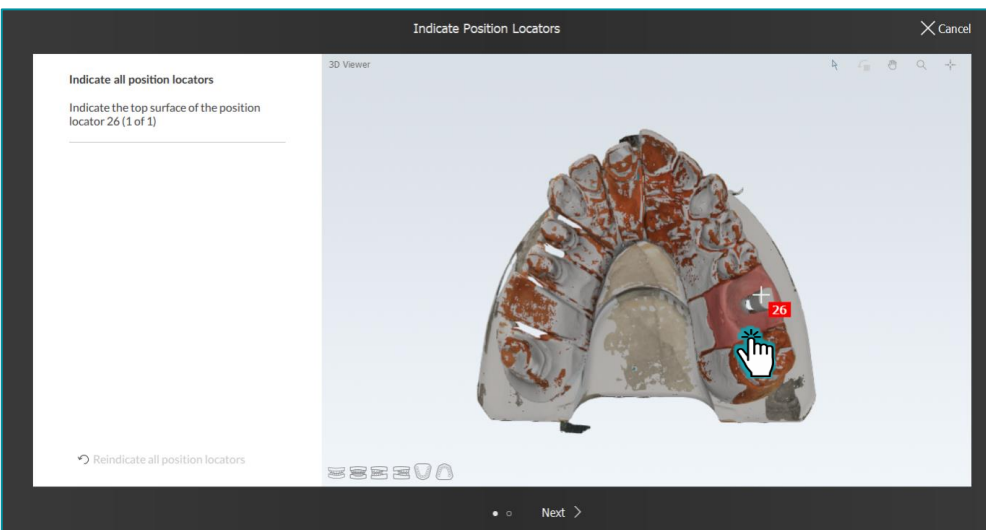
【新規スキャンを開始する場合】

Scanを行います

Indicate Locatorsの【Start】をクリックし、Locatorの確認を開始します



下図のように、【+字キー】をLocatorの中心に合わせクリックします。



Genion 2 Scanner

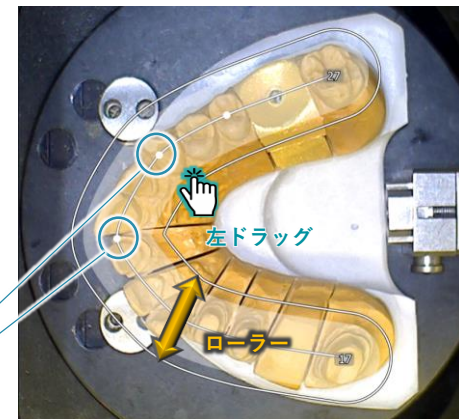
【新規スキャンを開始する場合】

Scanを行います

Upper Jaw(修復側の顎)のスキャンを開始します



ロケーターを除去し、ガム材を装着した状態でScanを行います。

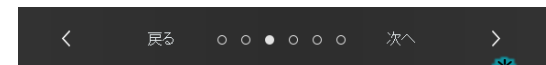


左ドラッグ：  
ポイントをつかみ、移動します



ローラー：  
領域の幅を拡大/縮小します

領域指定が完了し、画面下の【>】を左クリックすると、Scanが開始されます



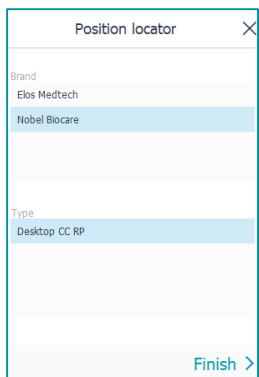


Kavo LS3 Scanner

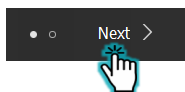
【新規スキャンを開始する場合】

Scanを行います

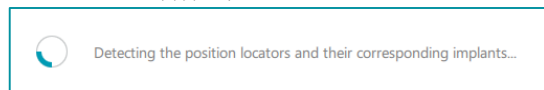
実際に使用したPosition Locatorの種類を選択し【Finish】をクリックします。



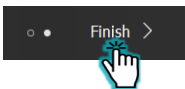
Position Locatorと、ソフトウェアがはめ込んだ、青色のロケータデータにズレが起きていなければ、【Next】をクリックします



ソフトウェアが計算を行います



Position Locatorのアライメントが終了したら、【Finish】をクリックします



Genion 2 Scanner

Scan

【新規スキャンを開始する場合】

Scanを行います

Upper Jaw(修復側の顎)のスキャン



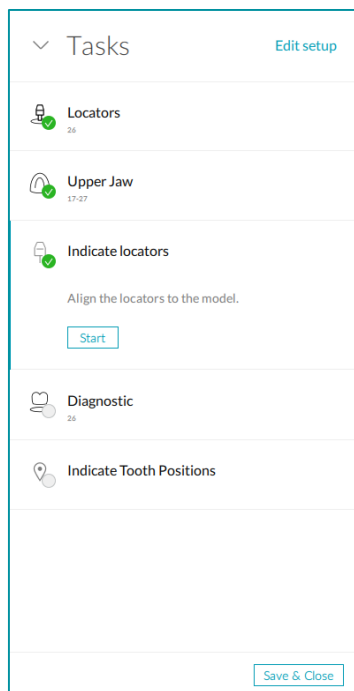


Kavo LS3 Scanner

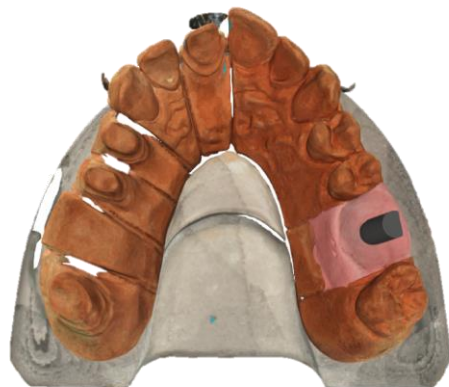
### 【新規スキャンを開始する場合】

Scanを行います

Indicate Locatorsの完了



カラースキャンを行った場合



Genion 2 Scanner

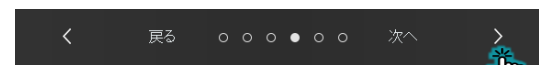
### 【新規スキャンを開始する場合】

Scanを行います

Upper Jaw(修復側の顎)のスキャン完了



Scanが終了したら、画面下の【>】を左クリックすると、次の項目へ移動します





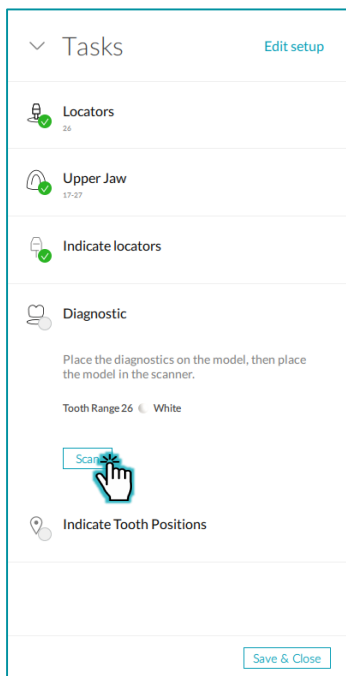


Kavo LS3 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

Scanを行います

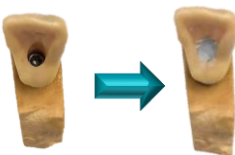
Diagnostics項目の【Scan】をクリックしScanを開始します



修復側模型にワックスアップフレームを装着します。  
ガム材を外しておくと、歯肉内も読み込むことができます。



スクリーアクセスホールを  
ワックスやシリコンで封鎖  
します。



スキャナータッチパネルからも  
スキャンを開始できます。



Genion 2 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

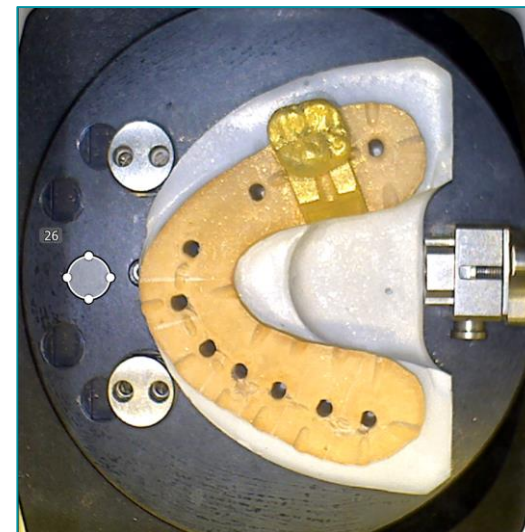
Scanを行います

ワックスアップフレーム(修復側の顎)のスキャンを開始します



修復側顎模型にワックスアップを装着し、  
スキャンスプレーもしくは、スキャンパウダーを塗布します

青いスプレー&パウダーはScanできません



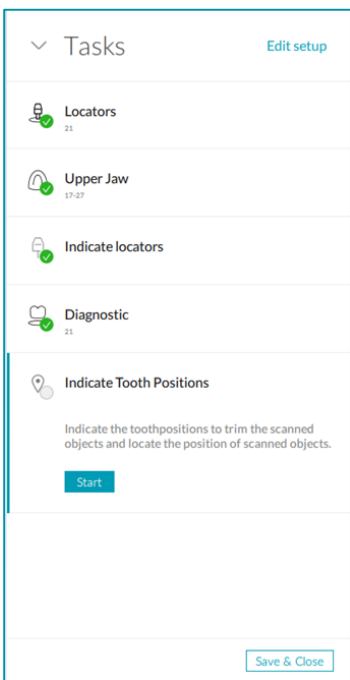


Kavo LS3 Scanner

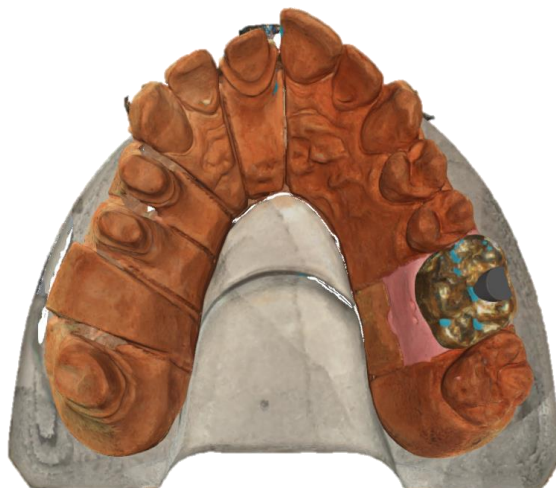
【新規スキャンを開始する場合】

Scanを行います

ワックスアップフレームのスキャン完了



カラスキャンを行った場合



Genion 2 Scanner

Scan

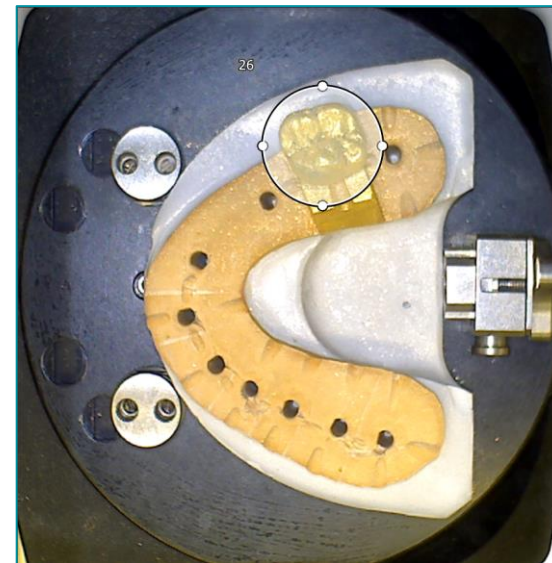
【新規スキャンを開始する場合】

Scanを行います

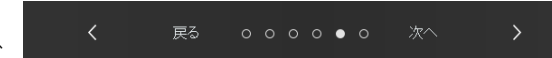
ワックスアップフレーム(修復側の顎)のスキャンを開始します



スキャン領域の指定を行います。



スキャン領域を指定したら、画面下の【>】を左クリックすると、スキャンが開始されます。





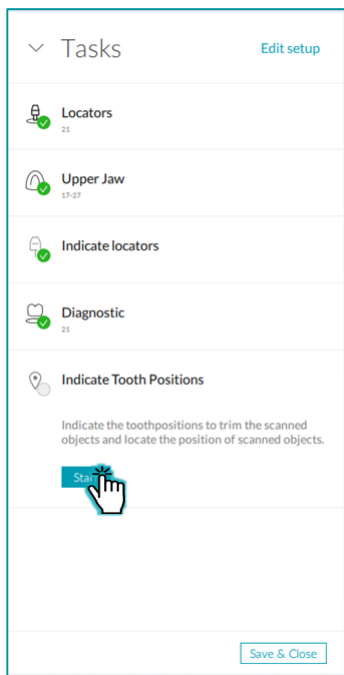
Kavo LS3 Scanner

## 【新規スキャンを開始する場合】

Scanを行います

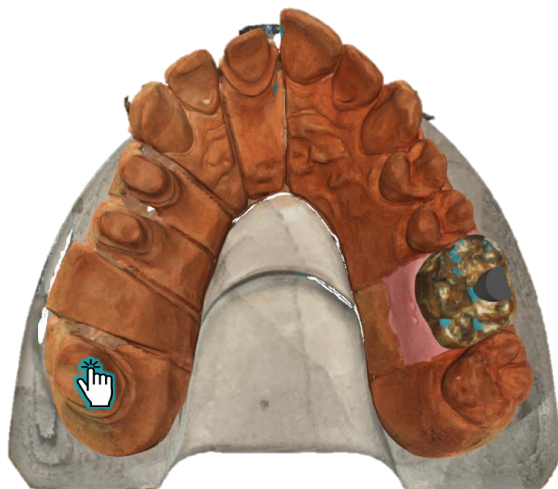
Indicate Tooth Positions項目の【Scan】をクリックしScanを開始します

模型の過剰な部分をカットする機能です(本項をスキップすることも可能です。)



画面左のウィンドウに表示されている歯牙番号通りに、3Dデータにポイントを付与します。

歯牙番号



Genion 2 Scanner

## 【新規スキャンを開始する場合】

Scanを行います

ワックスアップフレームのスキャン





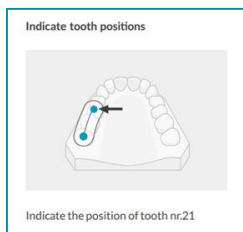
Kavo LS3 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

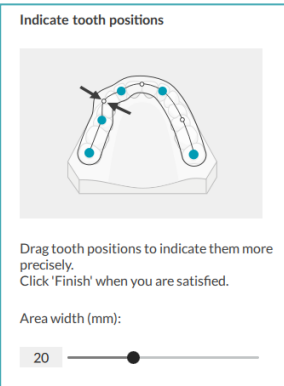
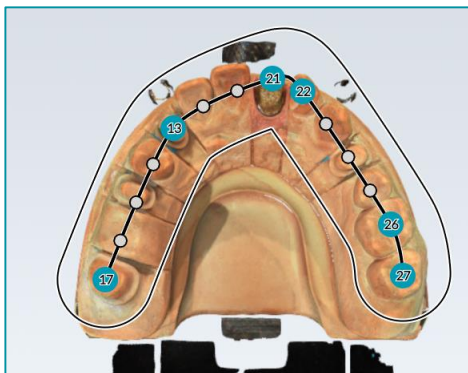
Scanを行います

Indicate Tooth Positions項目の【Scan】をクリックしScanを開始します

模型の過剰な部分をカットする機能です(本項をスキップすることも可能です)。

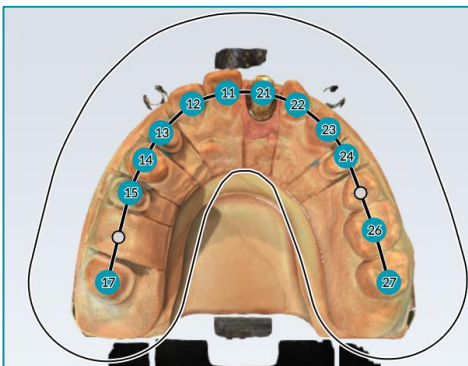


画面左のウィンドウに表示されている歯牙番号通りに、3Dデータにポイントが付与します。



ポイントを付与がしゅうりょうしたら、模型外周の枠線をかくにんしながら、ポイントの位置をを修正します。

範囲をひろげたり、狭めたりしたい場合は、【Area width】ゲージで調整します。



Genion 2 Scanner

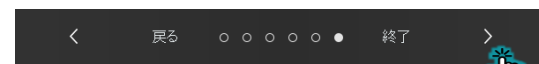
【新規スキャンを開始する場合】

Scanを行います

ワックスアップフレームのスキャン完了



Scanが終了したら、画面下の【>】を左クリックすると、スキャンが完了します。



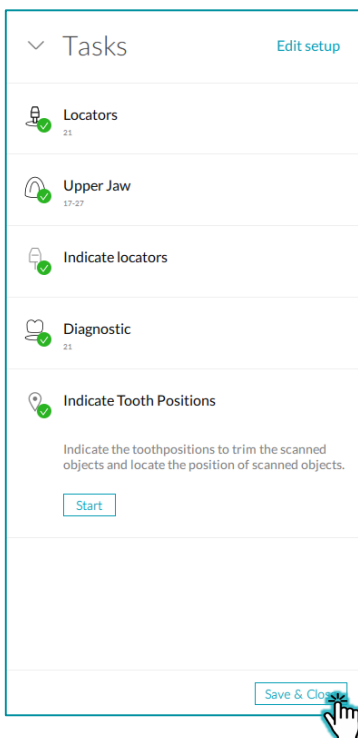


Kavo LS3 Scanner

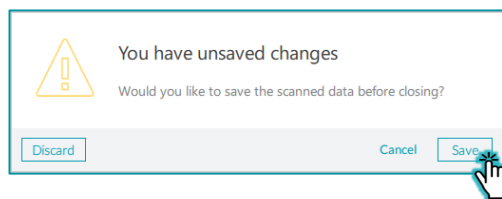
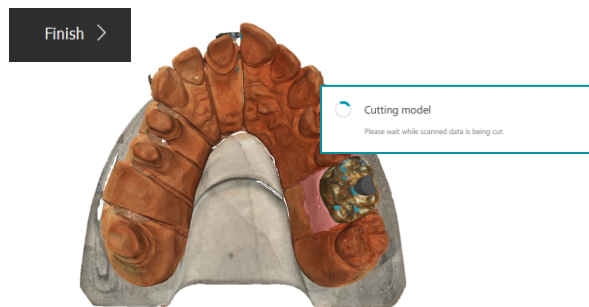
【新規スキャンを開始する場合】

Scanを行います

Indicate Tooth Positions項目のScanを完了します。



画面下の **【Finish】** を左クリックします。  
計算後、模型がカットされたら完了です。  
**【Tasks】** の下部にある **【Save & Close】** をクリックし、  
データをセーブしてスキャンの全工程を終了します。



データをセーブし終了します。

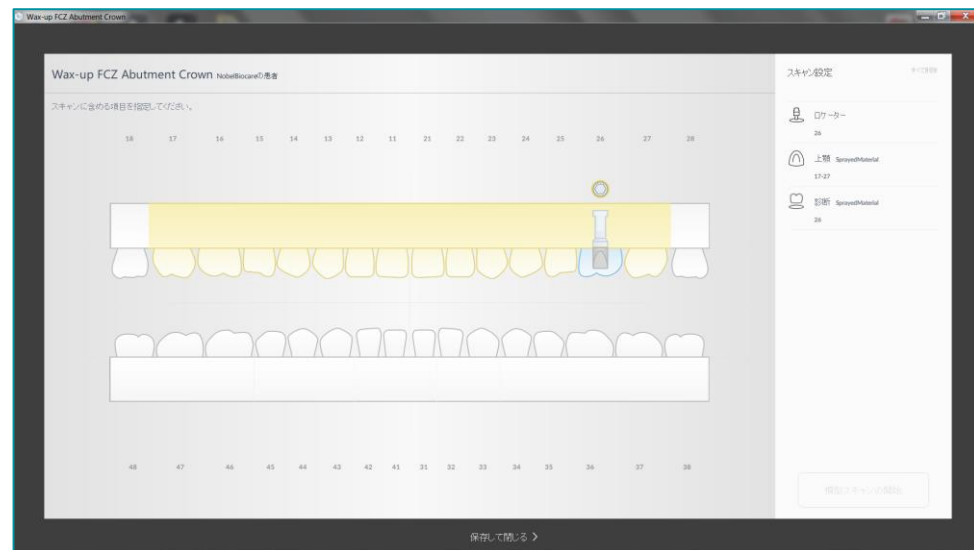


Genion 2 Scanner

【新規スキャンを開始する場合】

Scanを行います

Scanの完了



Scanが終了したら、画面下の  
**【保存して閉じる>】** を左クリックし保存します



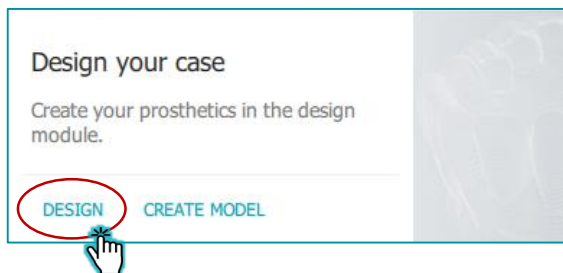


【新規スキャンを開始する場合】

スキャンする模型の準備：

スキャンを完了すると、DTX STUDIOプラットフォームにデザイン項目が表示されます。

【Design】をクリックし、デザイン画面を開きます



以下の項目に該当する場合は、デザインソフトが立ち上がりません

- ドングルがUSBポートに装着されていない
- ドングライセンスが切れている
- DTX STUDIO Labライセンスが更新されていない

0	Wax-up FCZ Abutment Crown NobelBiocare	Scanned 0 days left
---	---	------------------------

Scanが終了すると、ステータスを変更されます

The screenshot shows the DTX Studio Lab interface. On the left is a sidebar with navigation options: Requests, Cases, Orders, Patients. The main area displays a list of 6 cases found, sorted by due date. The selected case, 'Wax-up FCZ Abutment Crown - NobelBiocare', is highlighted in blue. A callout box points to this case, showing its status as 'Scanned' with '0 days left'. The detailed view for this case includes sections for 'Design your case', 'Model scan', and 'Prescription form'. A large blue arrow points from the 'DESIGN' button in the callout box to the 'DESIGN' button in the 'Design your case' section of the interface.

DTX STUDIO Labのプラットフォーム

## Wax-Up · FCZ Abutment crown / ワックスアップ・FCZ アバットメントクラウン

- FCZ Abutment crown Design / FCZ アバットメント クラウン デザイン



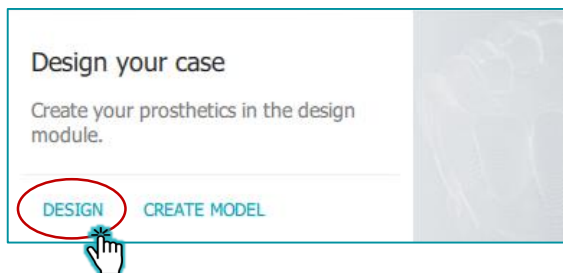


【新規デザインを開始する場合】

スキャンする模型の準備：

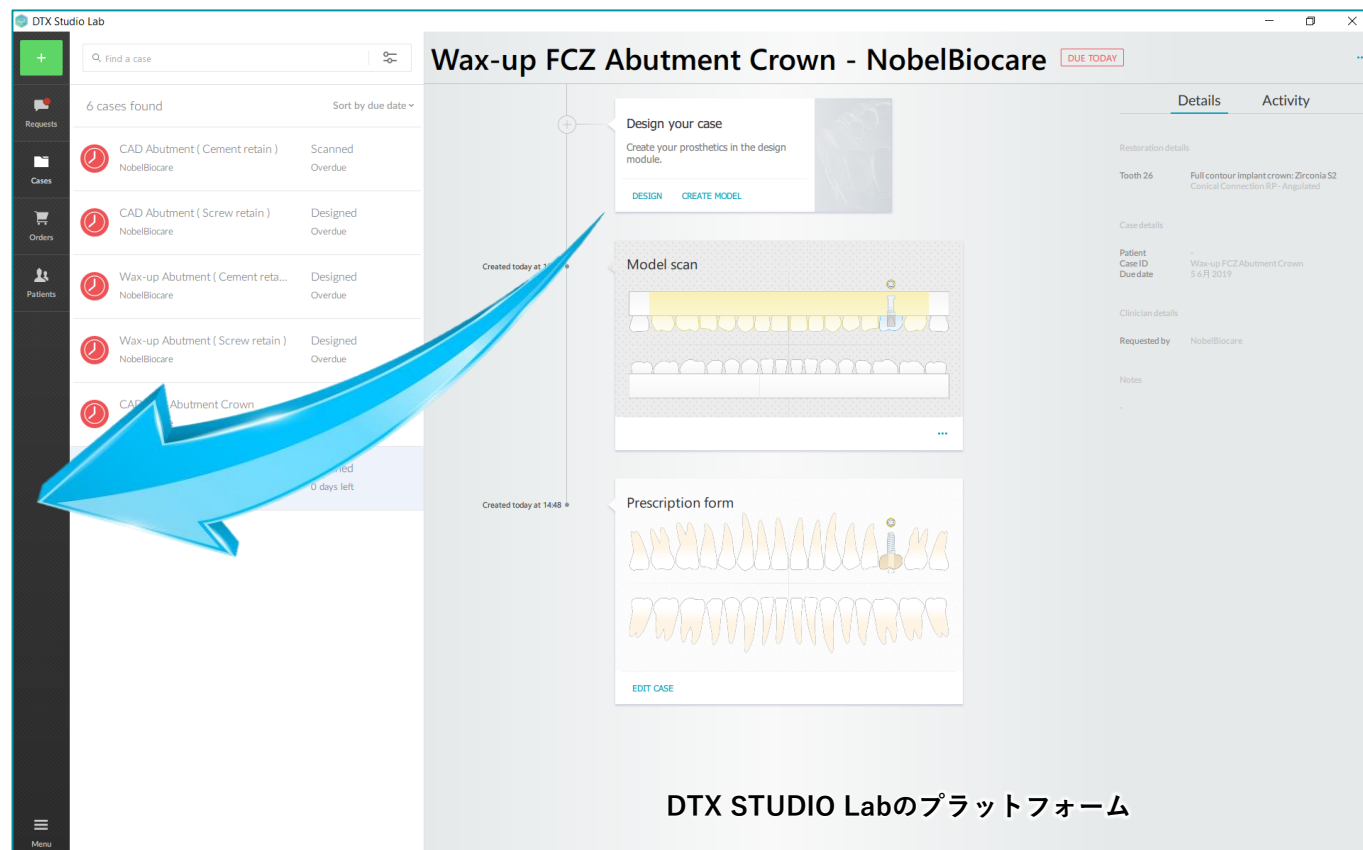
DTX STUDIOプラットフォームからデザインを開始します

【Design】をクリックし、デザイン画面を開きます



以下の項目に該当する場合は、デザインソフトが立ち上がりません

- ドングルがUSBポートに装着されていない
- ドングライセンスが切れている
- DTX STUDIO Labライセンスが更新されていない



DTX STUDIO Labのプラットフォーム





【新規デザインを開始する】

デザインソフトの立ち上げ

【デザインソフトを立ち上げます】

DTX STUDIO Designのロゴが表示され別ウィンドウでデザイン画面が立ち上がります

途中ドングル・ライセンスの確認画面が表示されますので、【了解】をクリックし、デザイン画面を立ち上げます



Design

マウスの操作



左クリック：決定/選択



右クリック：画像の回転



左右クリック：画像の移動



ローラー：画像の拡大/縮小



デザイン画面左上に、【表示/非表示】オブジェクトが表示されています。

各項目のボックスにチェックを入れると3Dが表示されます。また、各項目タイトルにカーソルを合わせると、ゲージが出現します。ゲージのつまみを左右に左ドラッグすると、3D表示の濃度を変更できます。



DTX STUDIO Labのデザインソフト画面

26



色/表面性状

【カラー表示の切り替え】

LS3スキャナーでカラーキャンをした場合、【色/表面性状】ボタンから、カラー/モノクロが切り替えられます。

LS3スキャナーでカラーキャンをした場合の表示

\*LS3スキャナーでカラーキャンをした場合のみ



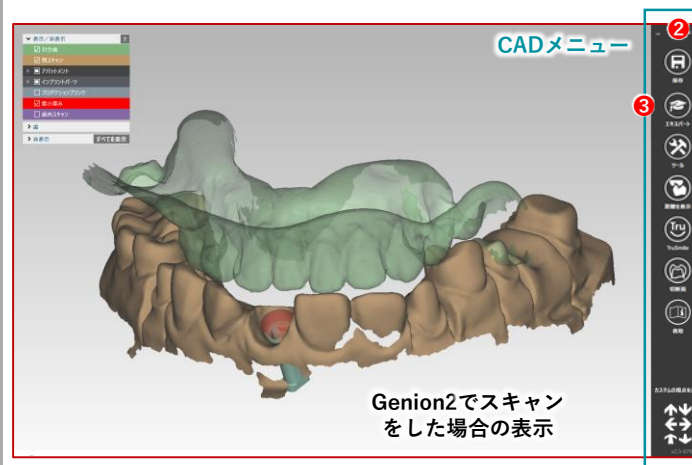
【新規デザインを開始する】

デザインの準備（穴埋め/削除）

【スキャンデータの調整をします】

【メッシュの編集】機能を使用し、余分なスキャンデータを切り取ります。  
 【メッシュの編集】機能は、修復する顎、対合歯、歯牙、バイトなど、様々なデータの不要箇所の切り取りや、スキャンできなかった部分の穴埋めを行うことができます

本項では、バイトインディックスの編集を例に解説します。



2 画面右にあるCADメニューから、3 【エキスパート】モードを左クリックで起動します。

3 エキスパート・モードを起動します

エキスパートモードを起動すると、アイコンがウィザードモードへ変わります。ウィザードモードに戻る際に使用します。

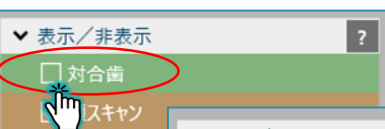
Genion2でスキャンをした場合の表示



右クリック：Context Menuの表示

対象のデータ上にカーソルを合わせ、右クリックを押します。

コンテキストメニューから【メッシュの編集】機能を選択します。



1 画面左上にある【表示/非表示】オブジェクトから、【対合歯】に左クリックでチェックを入れ、対合歯を表示させます。調整ツマミを使用し、3D表示の濃度を調整します。



ワックスアップフレームを編集する場合

画面左上にある【表示/非表示】オブジェクトから、【Pre-opスキャン】に左クリックでチェックを入れ、ワックスアップを表示させます。調整ツマミを使用し、3D表示の濃度を調整します。



【新規デザインを開始する】

### デザインの準備 (穴埋め/削除)

【スキャンデータの調整をします】

【3Dデータエディター】機能を使用し、余分なスキャンデータの削除/穴埋めを行います。

選択された3Dデータは【黄色】に反転されます。

左クリック/左ドラッグで範囲を指定し、範囲を囲んで指定する機能の場合、Wクリックで範囲指定します。

#### 範囲選択

- ▶ **【透過で選択】**  
表面や裏面、重なったデータを連続して範囲指定します。
- ▶ **【表面上で選択】**  
画面の最表層に見えるデータのみを範囲指定します。
- ▶ **【表面をクリックして選択】**  
連続したデータを1クリックで指定します。途切れているデータは指定されません。
- ▶ **【すべて】**  
全てのデータを1クリックで選択します。
- ▶ **【なし】**  
選択後、反転している指定箇所を全てリセットします。
- ▶ **【反転】**  
選択範囲と、その他の箇所を逆転し指定範囲を反転します。

#### 動作

- ▶ **【削除】**  
範囲指定し、黄色くなった範囲を削除します。
- ▶ **【クロップ】**  
範囲指定し、黄色くなった範囲以外を削除します。
- ▶ **【分割】**  
範囲指定した部分が、連続したデータから分割されます。
- ▶ **【穴を閉じる】**  
選択した範囲内にある空隙を埋めます。穴の外周全てがデータに囲まれている必要があります。
- ▶ **【元に戻す】**  
ひとつ前の操作に戻します。
- ▶ **【やり直す】**  
【元に戻す】操作で戻った操作を元に戻し(やり直し)ます。

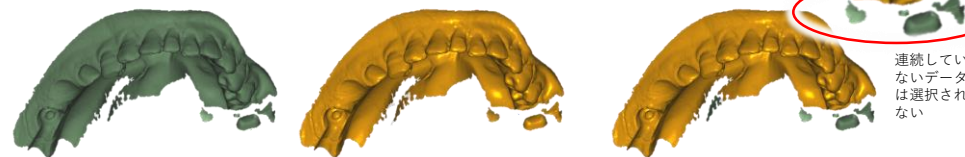
#### ● 削除：左クリック/左ドラッグで範囲を指定

【範囲指定】 → 【範囲決定】 → 【反転】 → 【削除】



#### ● 削除：1クリックで範囲を指定

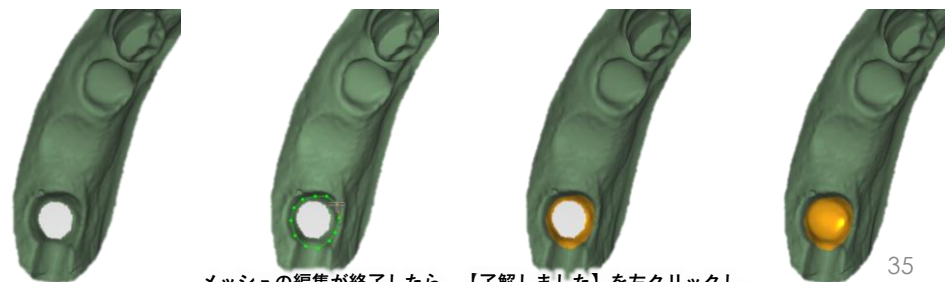
【調整前】 → 【すべて】 → 【表面をクリックして選択】



連続していないデータは選択されない

#### ● 穴埋め：左クリック/左ドラッグで範囲を指定

【調整前】 → 【範囲指定】 → 【範囲決定】 → 【穴を閉じる】



メッシュの編集が終了したら、【了解しました】を左クリックし、ウィザードモードに戻りデザインを再開します。

### 3Dデータエディター

完了するためにダブルクリックします。選択を解除する場合は、

透過で選択  
 表面上で選択  
 表面をクリックして選択

動作

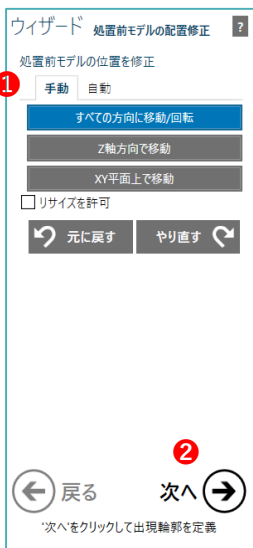
削除	クロップ
穴を閉じる	分割
元に戻す	やり直す
了解しました	キャンセル



【新規デザインを開始する】

## デザインの準備 (位置修正)

【処置前モデルの配置を修正します】

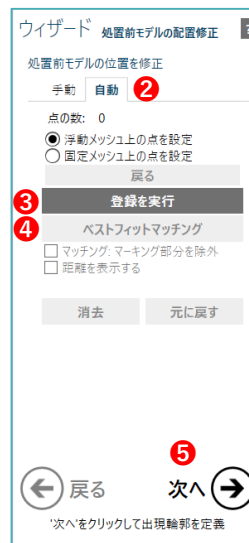
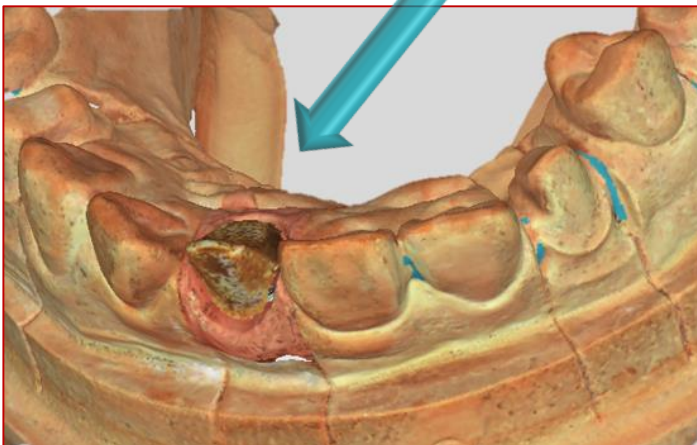


データにずれがない場合は、2をクリックして、次の項目に進みます

1 ウィザード欄の【手動】タブから項目を選択し、手動で移動させます。左ドラッグで対象物が移動します。【Ctrl】+左ドラッグで対象物が回転します。

- すべての方向に移動/回転：全方向に移動します
- Z軸方向で移動：上下に移動します
- XY軸平面上で移動：前後左右に移動します
- リサイズを許可：スケールを変更できます

2 設定が終了したら、[次へ]を左クリックして完了をクリックします。

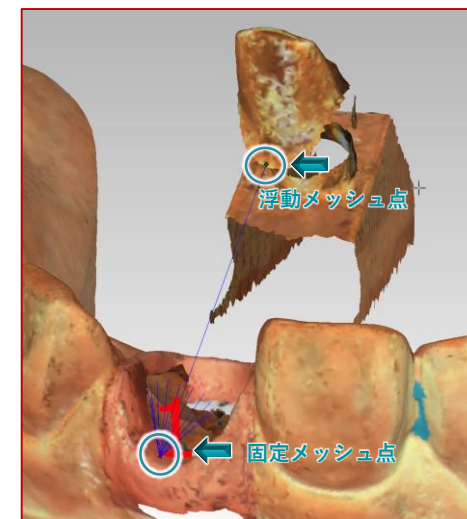


2 ウィザード欄の【自動】タブから対象物の合わせたい箇所へポイントを指定し移動させます。【複数のポイントを設定できます】

- 浮動メッシュ上の点を設定：ズレている対象物上にポイントします。
- 固定メッシュ上の点を設定：合わせたい対象物上にポイントします。

3 【登録を実行】を左クリックするとポイント同士が重なり、データが移動します。

4 【ベストフィットマッチング】をクリックすると、ソフトウェアが自動計算を行います



### POINT

浮動メッシュ側にポイントした個所と同じになるように、固定メッシュ側にポイントします

5 設定が完了したら、[次へ] を左クリックして設定を完了します



【新規デザインを開始する】

アバットメントのマージン設定

【マージンラインを決定します】



① ウィザード欄の【検出】タブから【ポイントの追加】を選択します。マージン相当部に左クリックで、4点ポイントを付与します。\*図1

ソフトウェアがマージンを自動検出します。\*図2

図1

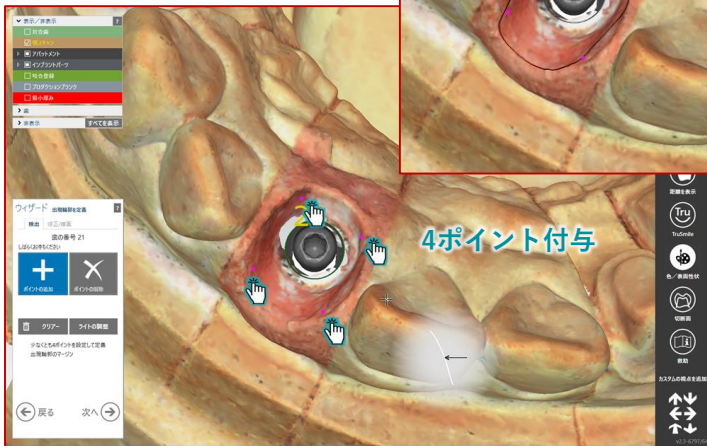
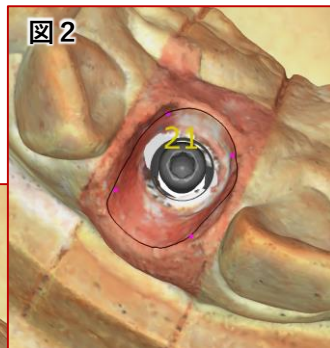


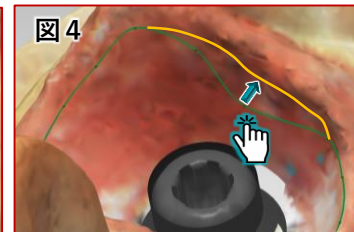
図2



② 自動検出にて設定されたマージンラインを修正するには、ウィザード欄の【修正/描画】タブから【移動】を選択します。

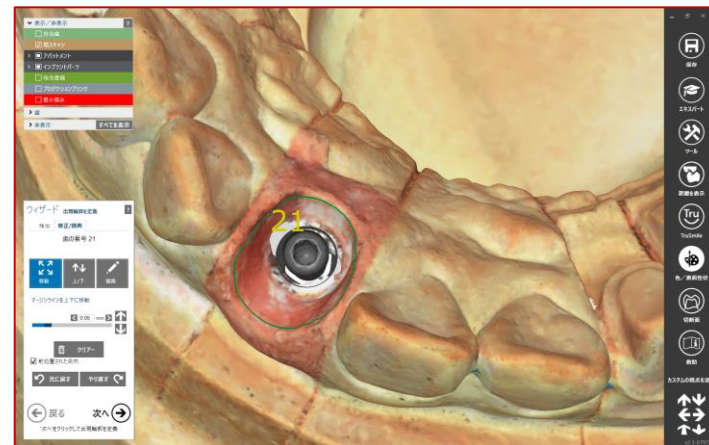
自動検出されたマージンラインがポイント付きの緑色へ変化します。\*図3  
ポイントを左ドラッグして、マージンを修正します。\*図4

③ 設定が完了したら、[次へ] を左クリックしてマージンの設定を決定します



### POINT

ポイントを追加するには左クリック、消去するには左ドラッグの状態ですべて右クリックします。





【新規デザインを開始する】

## 歯牙データの挿入

【症例に合わせて、歯牙データを挿入します】



ウィザード欄の【選択】タブから挿入する歯牙のタイプを選択します。

### 【ライブラリーデータの使用】

・ソフトウェアのライブラリーデータを使用する場合は【次へ】をクリックし、次の項目で配置設計をします

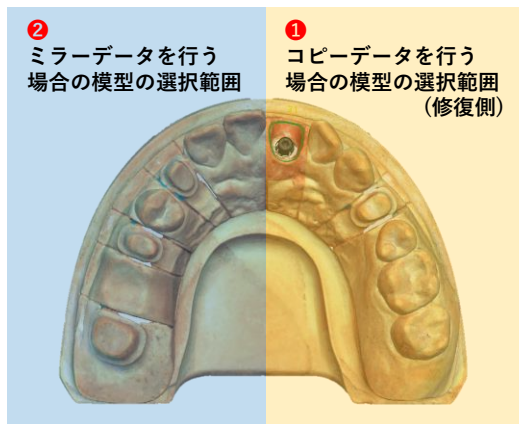
#### ① 【コピーデータの使用】

・模型上の歯牙をコピーしてデザインを行う場合は、【コピー】を選択した後、コピーしたい模型の歯牙を左クリックで選択します。

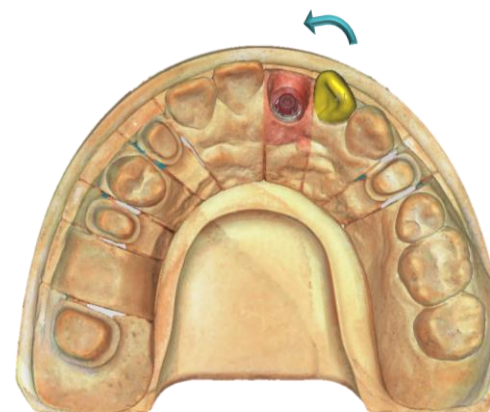
#### ② 【ミラーデータの使用】

・模型データの反対側同名歯を反転コピーしたい場合は、②の【ミラー】を選択した後、模型の歯牙を左クリックで選択します。

③ 選択が終了したら、【次へ】を左クリックします。



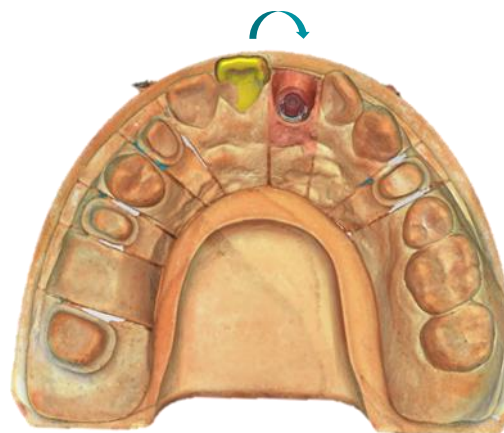
本項で使用している模型も場合



### ① コピーデータを使用した場合



【主に白歯部に使用】



### ② ミラーデータを使用した場合



【主に前・白歯部に使用】



【新規デザインを開始する】

## 歯牙の配置設定

【ウィザード各項目を使用し、歯牙を歯列へ配置を行います】

ウィザード 歯牙模型を置く ?

歯の番号 21

最初の歯の配置を確認してください。

動かす (コントロールキー) 回転

↑ スケール

マージンと残留歯列に自動的に対応するには、「次へ」をクリックします。

アドバンスプレースメントへ行く

歯のライブラリーを変更する

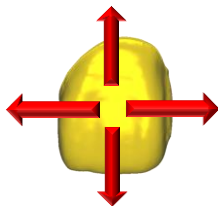
generic

> 近心/遠心を修正

元に戻す やり直す

戻る 次へ

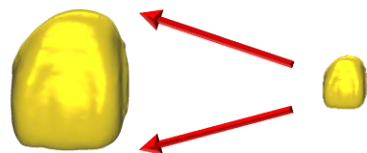
① 左ドラッグで移動します



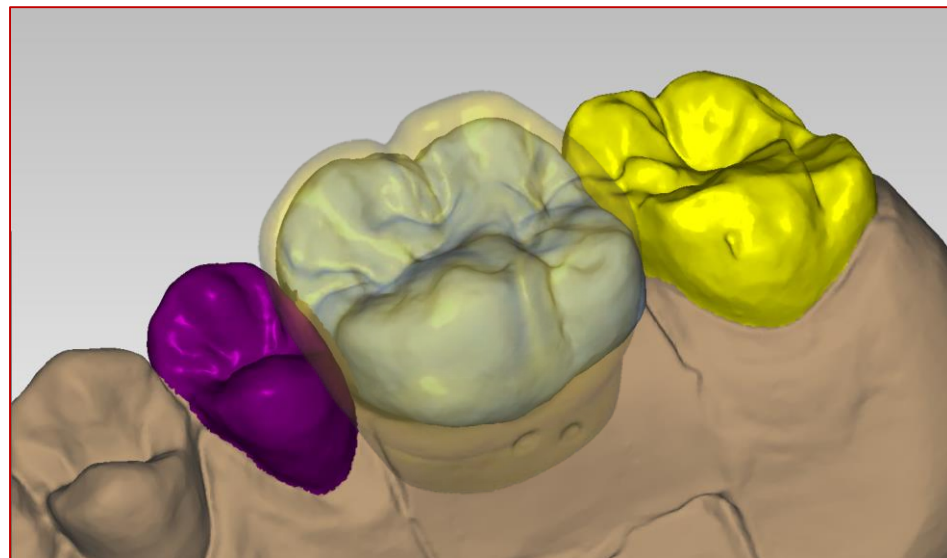
② 【Ctrl】 + 左ドラッグで回転します



③ 【Shift】 左ドラッグで拡大/縮小します



ワックスアップフレームより、一回り大きめに配置設定します。  
(後にワックスアップに合わせるためです。)  
設定が完了したら、【次へ】を左クリックします。



### POINT

ライブラリーデータをワックスアップフレームより、一回り大きめに配置設定します。

ライブラリーデータがワックスアップフレームより小さいと、後にボリュームが不足する場合があります。







【新規デザインを開始する】

## サブジンジバル・カントウアのデザイン

【プロファイル形状を決定します】

ウィザード アバットメント下部を生成

下部 高度な

形状

トッパングル

ボトムアングル

フリーフォーム  視覚化 リミット?

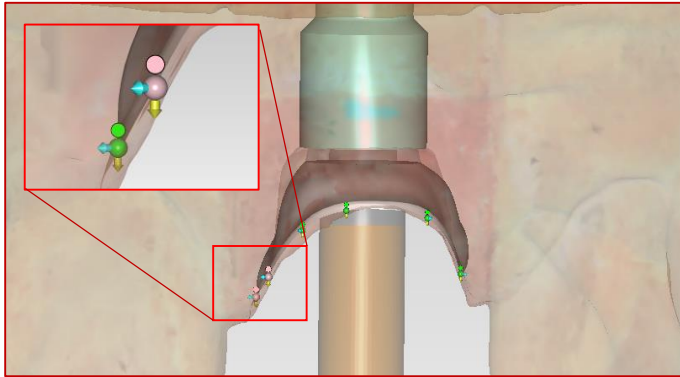
以上 < 0.2 >

以下 < 0.2 >

マージンを上/下に移動  
全方向に移動  
マージン移動 イン/アウト  
歯肉へ差し込む

元に戻す やり直す

戻る 次へ



マージンを上/下に移動  
全方向に移動  
マージン移動 イン/アウト  
歯肉へ差し込む

⑥ ウィザード欄の説明にあるように、ポイントとを左ドラッグで動かし、マージン位置を再設定することができます。

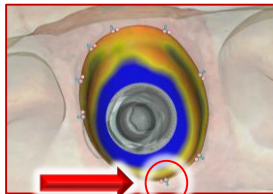
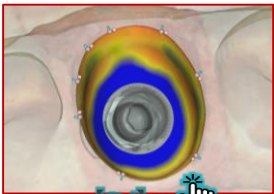
【歯肉へ差し込む】をクリックすると切り替えができます

緑色のポイントは歯肉に沿って移動ができます

ピンク色のポイントは歯肉内へ差し込むことが可能です。

### POINT マージンポイントの追加

マージンのポイントを追加する場合は、キーボードの【Ctrl】を押しながら左クリックをします。



【アバットメント下部と上部デザインの境界の高さ設定】

ウィザード アバットメント下部を生成

下部 高度な

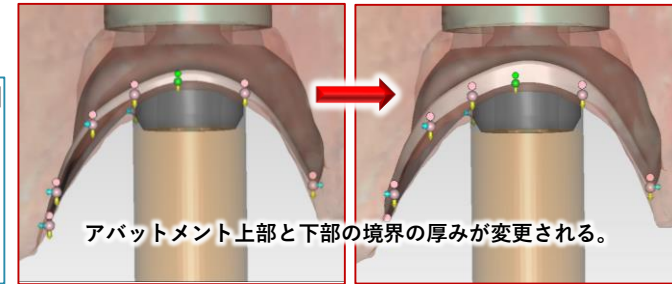
\*\*\*外観境界線/境界の輪郭

高さ < 0.24 mm >

半径 < 0 mm >

インプラントより下を実行する

ウィザード欄の【高度な】タブをクリックします。  
【外観境界線/境界の輪郭】ゲージを調整しデザインを決定します



表示/検索

表示

隠す

拡大スキャン

3Dモデルの表示

2D/2.5Dの表示

3Dモデルの表示

2D/2.5Dの表示

3Dモデルの表示

2D/2.5Dの表示

ウィザード アバットメント下部を生成

下部 高度な

形状

トッパングル

ボトムアングル

フリーフォーム  視覚化 リミット?

以上 < 0.2 >

以下 < 0.2 >

マージンを上/下に移動  
全方向に移動  
マージン移動 イン/アウト  
歯肉へ差し込む

元に戻す やり直す

戻る 次へ

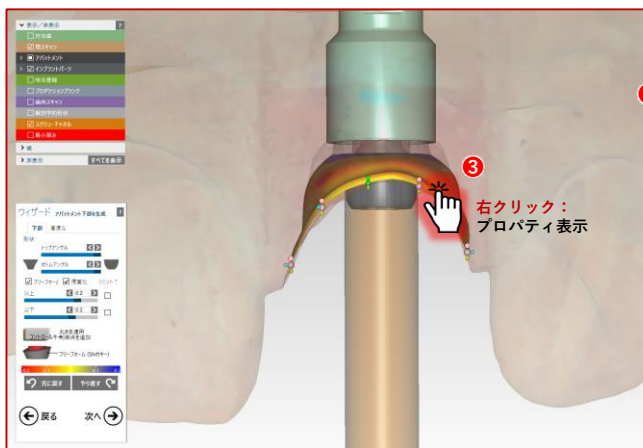
プロファイルデザインが終了したら、【次へ】を左クリックします。



【新規デザインを開始する】

### サブジンジバル・カントウアのデザイン - アドバンスデザイン -

【プロフィール形状を自由にデザインする方法】



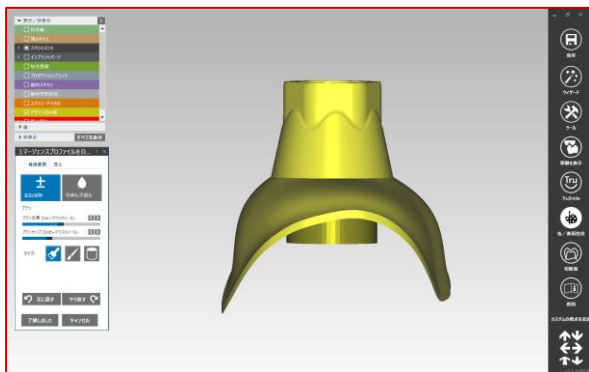
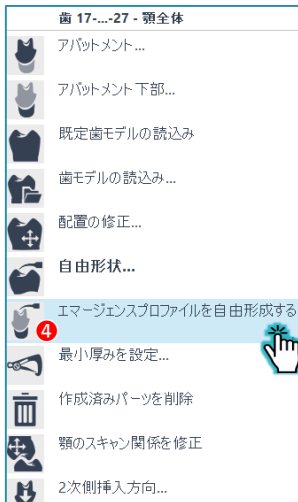
CADメニュー

① 画面右にあるCADメニューから、②【エキスパート】モードを左クリックで起動します。

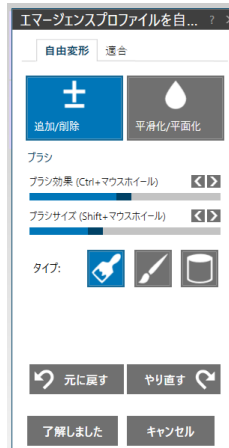
② エキスパート・モードを起動すると、アイコンがウィザードモードへ変わります。ウィザードモードに戻る際に使用します。

③ アバットメント上にカーソルを合わせ、右クリックで、【プロパティ】を表示します。(左図)

④ プロパティから【エマーゼンスプロフィールを自由形成する】を選択し、デザインを行います。



【プロフィール形状を自由にデザインする方法】



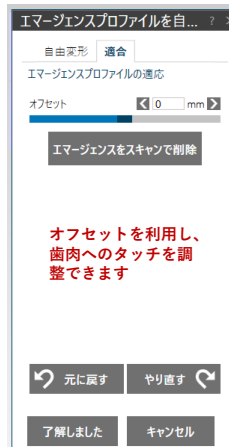
ウィンドウから【自由形状】タブを選択し、【追加/削除】【平滑化/平面化】コマンドから自由にデザインを行います。

自由形状の操作方法につきましては、【歯冠形態のデザイン】の項を参照



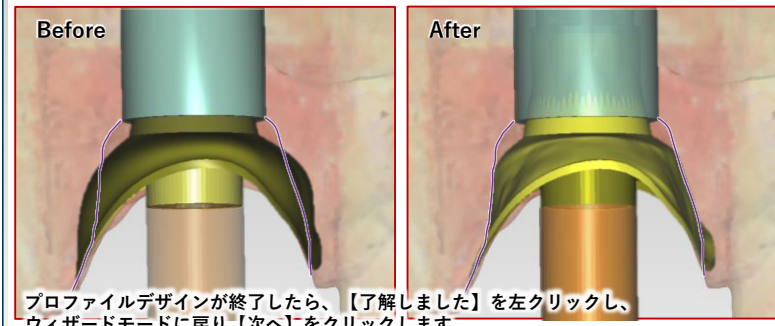
プロフィールデザインが終了したら、【了解しました】を左クリックし、ウィザードモードに戻り【次へ】をクリックします。

【プロフィール形状を歯肉に合わせる方法】



ウィンドウから【適合】タブを選択し、【エマーゼンスをスキャンで削除】ボタンをクリックすると、歯肉に適応します。

元々のデザインが、歯肉内面に触れていない場合は、歯肉へ適応しませんので、十分にデータ量に厚みを持たせておくことがポイントです。また、オフセットで歯肉の圧排調整も可能です



プロフィールデザインが終了したら、【了解しました】を左クリックし、ウィザードモードに戻り【次へ】をクリックします。



【新規デザインを開始する】

## スクリーアクセスホールのデザイン

【アクセスホールを決定します】

ウィザード アバットメント下部を生成

下部 高度な

\*\*\*外観境界線/境界の軸部

高さ < 0.24 mm >

半径 < 0 mm >

インプラントより下を実行する

スクリーチャンネルを角度付け

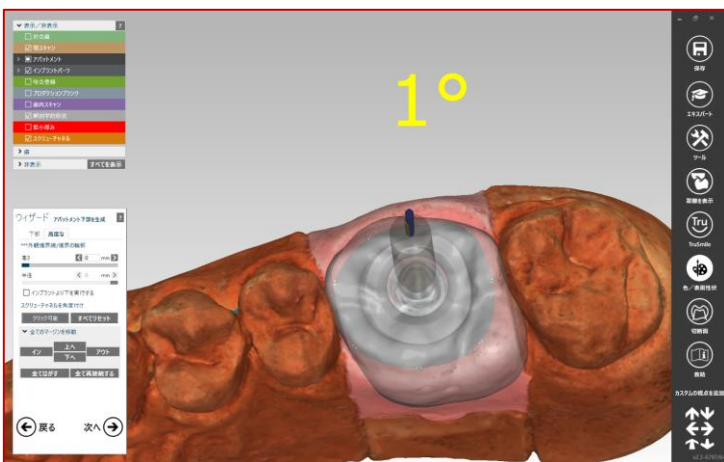
**7** クリック可能  すべてリセット

▼ 全てのマージンを移動

イン 上へ アウト 下へ

全てはがす 全て再接続する

戻る 次へ



ウィザード欄の【高度な】タブの項目を使用し、アバットメントスクリーアクセスホールを設定します。

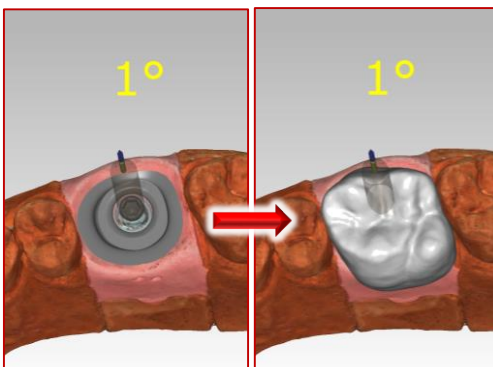
### POINT

#### 歯牙形態の表示

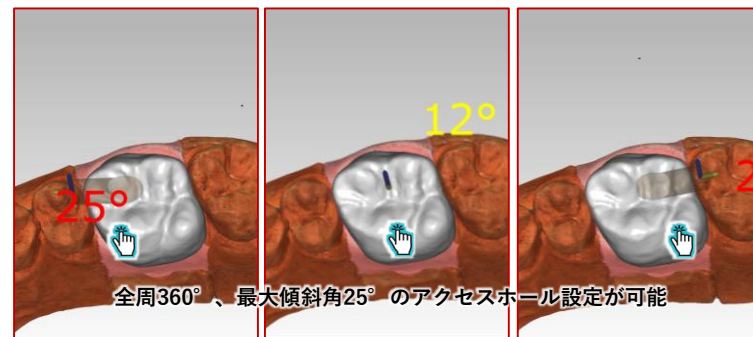
アクセスホールを適正な位置に設定するため、歯牙形状を表示すると設定し易くなります。

表示 / 非表示

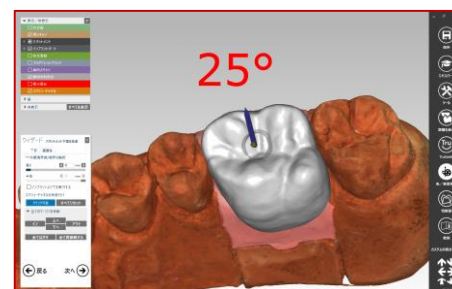
- 対合歯
- 歯スキャン
- ▶ アバットメント
- ▶  インプラントパーツ
- 咬合登録
- プロダクションプランク
- 歯肉スキャン
- 最小厚み
- 解剖学的影注
- スクリーチャンネル
- ▶ 歯
- ▶ 非表示



ウィザード欄の【高度な】タブ内にある、**7**【スクリーチャンネルの角度付け】の【クリック可能】を選択し、3Dデータ上でアクセスホールの位置をクリックで決定します。



全周360°、最大傾斜角25°のアクセスホール設定が可能



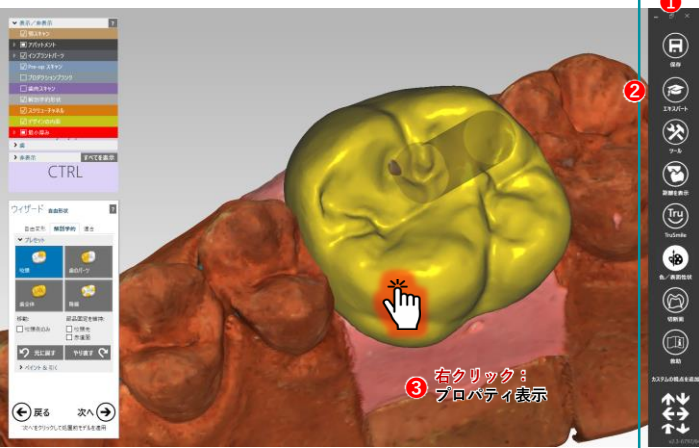
プロファイルデザインが終了したら、【次へ】を左クリックします。



【新規デザインを開始する】

ワックスアップフレームの適合

【処置前モデル(ワックスアップ)へ適応】



① 画面右にあるCADメニューから、②【エキスパート】モードを左クリックで起動します。

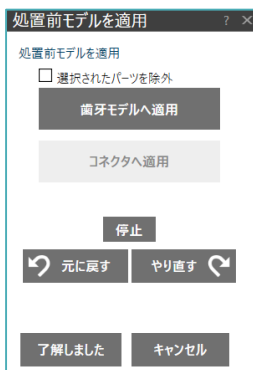
② エキスパート・モードを起動します

エキスパートモードを起動すると、アイコンがウィザードモードへ変わります。ウィザードモードに戻る際に使用します。

③ 右クリック：プロパティ表示

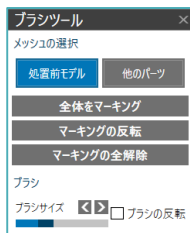
③ 処置前モデル上にカーソルを合わせ、右クリックで、【プロパティ】を表示します。(左図)

④ プロパティから【処置前モデルを適応...】を選択します。

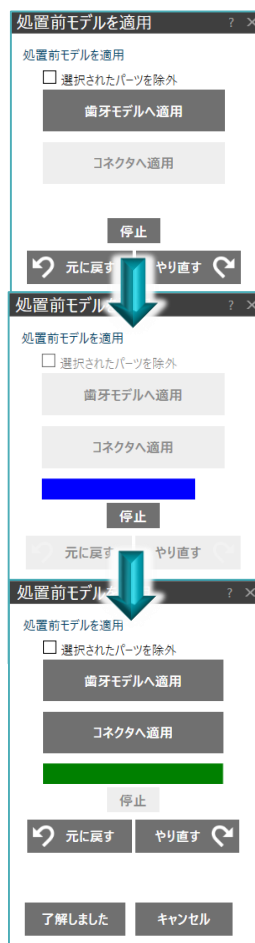


**POINT**  
選択されたパーツを除外

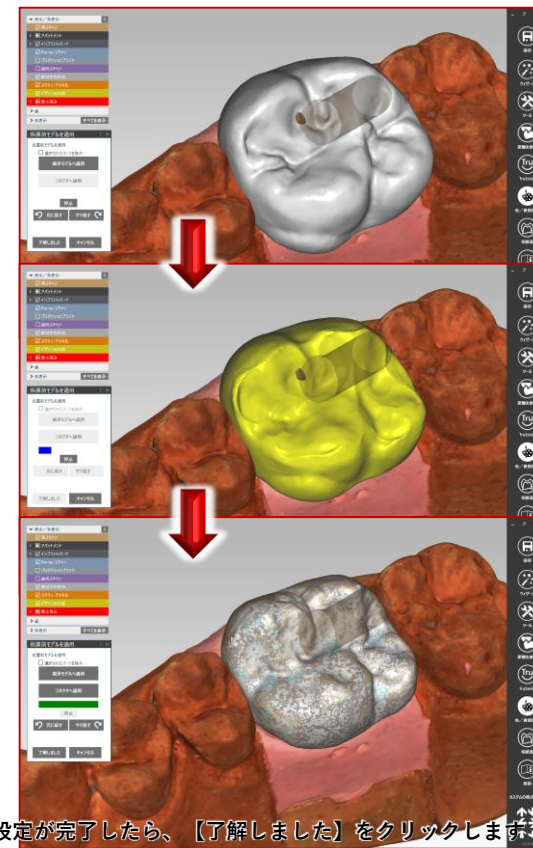
選択されたパーツを除外にチェックを入れ、ブラシツールで色塗りすると、その部分は変形せず、デザインを行うことができます。



【処置前モデル(ワックスアップ)へ適応】



処置前モデルを適用ウィンドウの【歯牙モデルへ適応】をクリックし、ライブラリーの歯牙データを、ワックスアップフレームのデータに合わせます。



設定が完了したら、【了解しました】をクリックします。



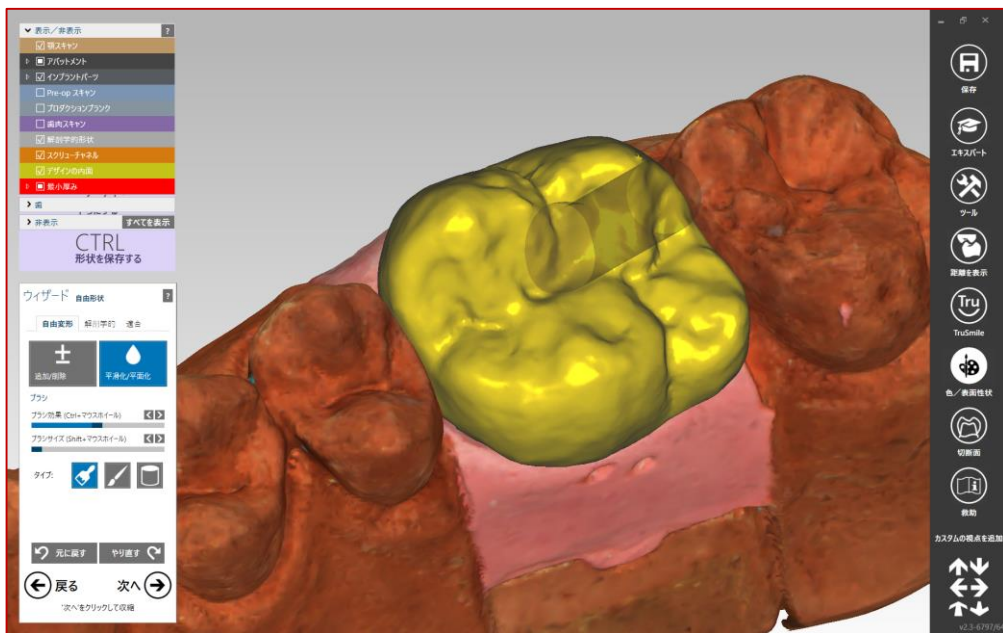
【新規デザインを開始する】

## 歯冠形態のデザイン

【必要に応じスキップできます】

【自由形状をデザインします】 - クラウン -

【解剖学的特徴のデザインを行います】 - クラウン -



ウィザード欄の

- ① 【自由変形】
- ② 【解剖学的】
- ③ 【適合】

タブ内の項目を使用し、歯冠形態をデザインしていきます



ウィザード欄の【解剖学的】タブをクリックします。  
【咬頭】【歯のパーツ】【歯全体】【隆線】の項目から、症例に合わせて歯冠データを調整します

**① 【咬頭】**

咬頭部(または一部分)の形態を変更できます

**② 【歯のパーツ】**

歯のブロック(近心、遠心、頬側、舌側)部分の形態を変更できます

**③ 【歯全体】**

歯全体の位置を動かす変更ができます  
根尖側を軸にあらゆる方向に移動できます

**④ 【隆線】**

隆線部(または一部分)の形態を変更できます

### POINT 形状変形

左クリックでツマミ、左ドラッグで変形させます。



【新規デザインを開始する】

## 歯冠形態のデザイン

【必要に応じスキップできます】

【自由変形のデザインを行います】 - クラウン -

ウィザード 自由形状

自由変形 解剖学的 適合

1 追加/削除 2 平滑化/平面化

ブラシ

3 ブラシ効果 (Ctrl+マウスホイール) <>

4 ブラシサイズ (Shift+マウスホイール) <>

タイプ: 5 6 7

すべての交差を切断する

元に戻す やり直す

戻る 次へ

\*次へをクリックして自由形状

ウィザード欄の【自由変形】タブをクリックします。  
**【追加/削除】** **【平滑化/平面化】** **【ブラシ効果】** **【ブラシサイズ】**  
**【タイプ】** の項目から、症例に合わせクラウンのデザインを行います。

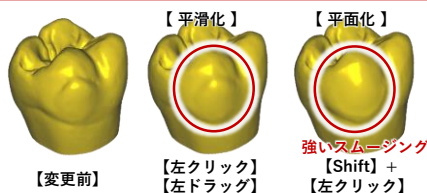
### 1 【追加/削除】

【左クリック&ドラッグ】でデータを追加できます。データを減らす場合は【Shift】+【左クリックorドラッグ】で削除できます



### 2 【平滑化/平面化】

【左クリック&ドラッグ】でデータを平滑できます。強スムージングの場合は【Shift】+【左クリックorドラッグ】で実行します。



### 3 【ブラシ効果】

データの追加/削除量を変更します  
ゲージの右側が強くなり、カーソルの色が濃くなります

### 4 【ブラシサイズ】

データの追加/削除範囲を変更します  
ゲージの右側が強くなり、カーソルの範囲が変更します

### 5 6 7 【ブラシタイプ】

- 5 デフォルト：ハケタイプのブラシで範囲が大きいのが特徴
- 6 ナイフポイント：非常に小さい範囲設定が可能で咬合面の溝形成向き
- 7 シリンダー：円柱状のデータ構築が可能で、ノブやハンドル形成向き

【適合のデザインを行います】 - クラウン -

ウィザード 自由形状

自由変形 解剖学的 適合

適合の種類を選択:

1 咬頭側 2 隣在側

交差点で切断

形状維持の適用

必要な距離 (マイナス = 干渉): 3

隣在歯 < 0.1 mm >

ディスクカッター

隣接の接触部分をブロックアウトする

隣接歯に向かって横向きに引っ張る

選択したパーツを除外する

すべての交差を切断する

元に戻す やり直す

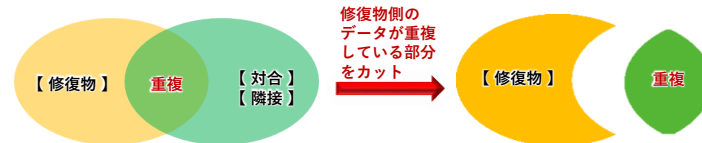
戻る 次へ

\*次へをクリックして自由形状

ウィザード欄の【適合】タブをクリックします。  
表示された項目から、データ同士が重複している(咬合及び隣接)部分のデータをカットします。  
(製作するプロダクトにより表示が異なってきます)

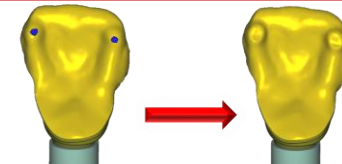
交差点で切断 交差点で切断ボタンでデータを切り取ります

形状維持の適用 形状維持の適用ボタンでデータを維持します



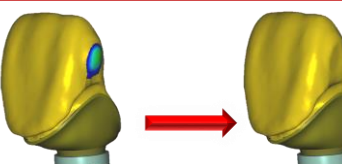
### 1 【咬頭側】

対合歯と交差している部分のデータを削除します



### 2 【隣在側】

隣接歯や模型部分と交差しているデータを削除します



### 3 【必要な距離】

データの交差量を調整します  
マイナス：干渉  
プラス：空隙



右図の距離(-0.1mm、0mm、0.1mm)

デザインが終了したら、【次へ】を左クリックします。



【新規デザインを開始する】

カットバックフレームをデザインします

【必要に応じスキップできます】

【カットバックフレームをデザインします】

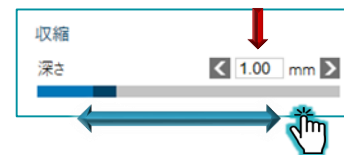
【フルカットバック】

クラウン全体をカットバックする場合

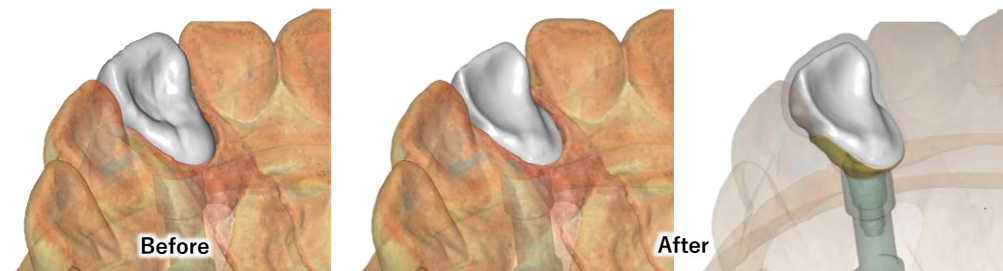
Step :

1. ①【収縮】の深さを設定します。
2. ⑥【適用】をクリックします。
3. カットバックされます。

① 値の入力もしくは、ゲージ調整



クラウンデザイン最外形から、修復深さ設定値でカットバックされます



### POINT カットバックの表示

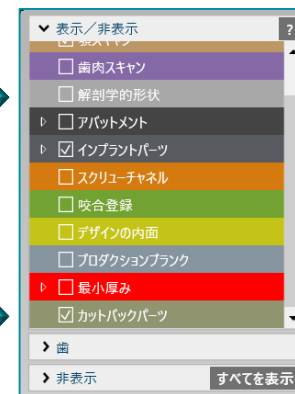
【カットバックが表示されない!!】

カットバックを行っても、3D画像に変化が見られない場合があります。

その場合は、【表示/非表示】オブジェクト内の、【解剖学的形状】のチェックを外し、【カットバックパーツ】のチェックを入れます。

【解剖学的形状】のチェックを外す

【カットバックパーツ】をチェックする



ウィザード 収縮処理

カットバックデザインライブラリ...

使用しないでください (通常縮小)

① 収縮

深さ < 1 mm >

② 部分収縮

選択されたパーツを除外

ブラシの厚み < >

③ すべてをマーク

すべて 舌側カラー

▼ [舌側の収縮を抑制しますか?]

④ 舌側収縮 < 100 % >

⑤  前歯にのみ適用

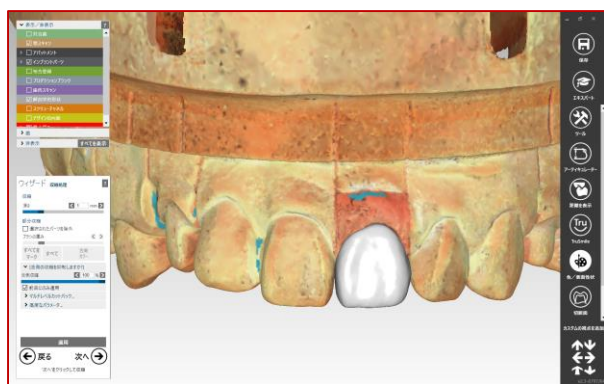
▶ マルチレベルカットバック...

▶ 高度なパラメータ...

⑥ 適用

戻る 次へ

\*次をクリックして収縮



- ① 【収縮】 : カットバック量を調整します。(深さ: 0 ~ 5mm)
- ② 【部分収縮】 : 部分的なカットバックフレームのデザインをします。ブラシを使用し、クラウンにデザイン(色塗り)を行います。色が塗られた箇所以外がカットバックされます。
  - ・すべてをマーク : クラウン全体を選択します。
  - ・すべて : マークされた部分をクリアします。
  - ・舌側カラー : 舌側カラーを設定します。
- ③ 【舌側の収縮を抑制しますか?】 : 舌側の収縮量調整をします。
  - ・ 0 : カットバックしません
  - ・ 100 : ①の【収縮】深さに準じカットバックします。
  - ・ 【前歯部のみ】にチェックを入れると、臼歯部へは適応しません。
- ④ 【マルチレベルカットバック】 : 同一箇所カットバックが複数回できます。
- ⑤ 【高度なパラメータ】 : 最小厚みの設定 (in Lab milling のみ)
- ⑥ 【適応】 : ①~④のステータス設定後、適応ボタンでカットバックします。

### POINT カットバック

①の【収縮】の深さを0mmにして、【次へ】を左クリックすると、カットバックなしで、次の項目に進みます。

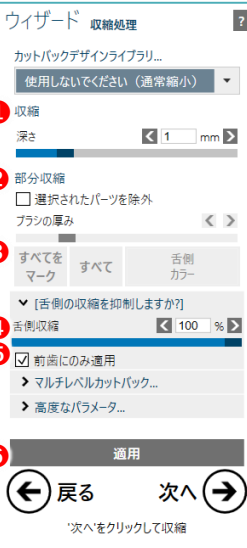
フルクラウンタイプに使用できます



【新規デザインを開始する】

カットバックフレームをデザインします  
【必要に応じスキップできます】

【パーシャルカットバック】



クラウンを部分的にカットバックする場合

Step :

1. ① 【収縮】の深さを設定します。
2. ② 【部分収縮】の【**選択されたパーツを除外**】にチェックをいれ、ブラシ範囲ゲージを調整後、3Dに直接色を塗ります。  
(適宜、**すべてをマーク**・**すべて**・**舌側カラー**を選択します。)
3. ⑥ デザイン終了後【適用】をクリックします。
4. カットバックされます。

【部分収縮】

ブラシを使用し、クラウンにデザイン(色塗り)を行います。  
**色が塗られた箇所以外がカットバックされます。**

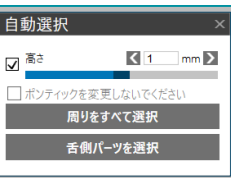
- ・すべてをマーク：クラウン全体に青色が塗られます。  
【Shift】+左ドラッグで色を消し、デザインをします。
- ・すべて：青色に塗られ、マークされた部分をクリアします。
- ・舌側カラー：舌側カラーを設定します。  
【自動選択】ウィンドウが表示され、舌側カラーの高さと範囲が選択できます。(図1)
- 【周りをすべて選択】：クラウン全周にカラーが付きます。
- 【舌側パーツを選択】：クラウン舌側にカラーが付きます。

リングル・カラーの設定

【周りをすべて選択】

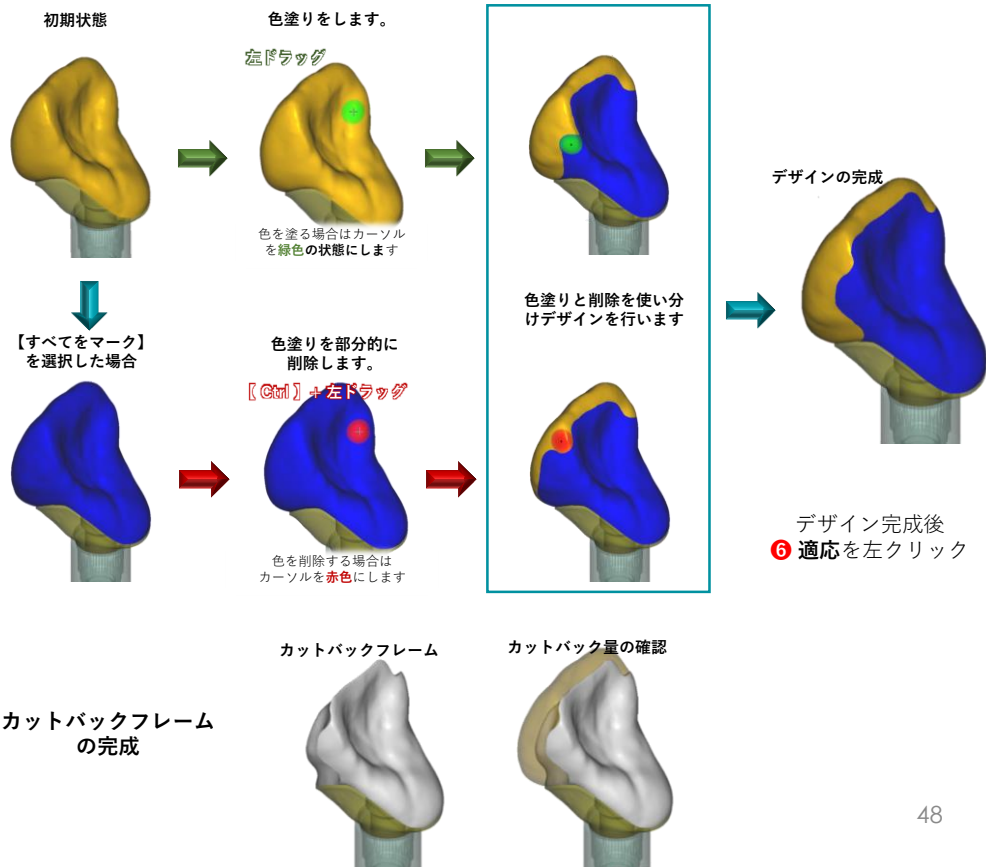
【舌側パーツを選択】

図 1



【パーシャルカットバック】

フリー・デザイン



カットバックフレームの完成





【新規デザインを開始する】

**カットバックフレームをデザインします**  
 【必要に応じスキップできます】

【パーシャルカットバック】

**ウィザード 収縮処理**

カットバックデザインライブラリ...

使用しないでください (通常縮小)

1 収縮  
深さ  mm

2 部分収縮  
 選択されたパーツを除外  
ブラシの厚み

3 すべてをマーク すべて 舌側カラー

4 [舌側の収縮を抑制しますか?]  
舌側収縮  %

5  前歯にのみ適用  
▶ マルチレベルカットバック...  
▶ 高度なパラメータ...

6 適用

戻る 次へ

\*次をクリックして収縮

【舌側収縮の抑止機能】

舌側一定範囲のカットバック機能

Step :

1. 1 【収縮】の深さを設定します。
  2. 3 【舌側収縮を抑制しますか?】項目の舌側収縮ゲージを調整し、舌側部のカットバック量を調整します。(0~100%)  
0: 舌側部はカットバックしません。  
舌側以外は1の深さに準じてカットバックします。  
50: 1の深さ量の50%カットバックします。  
100: 1の深さ量に準じて100%カットバックします。
- 【前歯にのみ適用】にチェックを入れると、白歯部には適用されず、前歯部のみ適用されます。  
 チェックを外すと、白歯部にも適用します。(\*図1)
3. 6 デザイン終了後【適用】をクリックします。
  4. 6 カットバックされます。

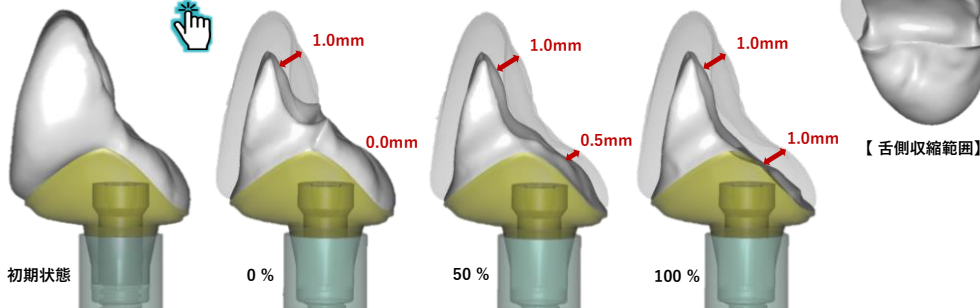
【舌側パーツを選択】

3 [舌側の収縮を抑制しますか?]

舌側収縮  %

前歯にのみ適用

図1

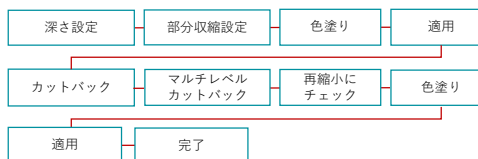


【パーシャルカットバック】

【マルチレベルカットバック】

複数回のカットバック操作

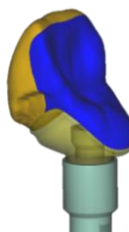
例) 前歯部唇側側の、ボディ部と切端部でカットバック量をパーシャルカットバックで変えたい場合  
 ボディー: 0.5mm  
 切端: 1.0mm



1. 設定  
・深さ  
・部分収縮



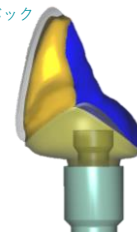
2. デザイン  
・色塗り



3. カットバック  
・適用



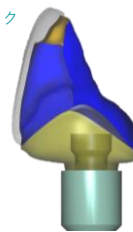
4. マルチレベル  
カットバック  
・再縮小に  
チェック



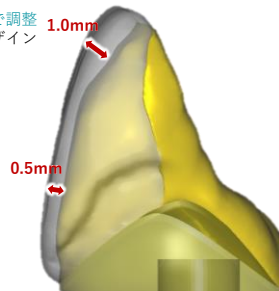
5. 追加デザイン  
・色塗り



6. カットバック  
・適用



自由形状で調整  
・最終デザイン



デザインが完了したら、【次へ】をクリックします。

▼ マルチレベルカットバック...

縮小した形状を再縮小する

元に戻す

図2

Step :

1. 1 【収縮】の深さを設定します。(例0.5mm)
2. 2 【部分収縮】の【選択されたパーツを除外】にチェックをいれ、ブラシ範囲ゲージを調整後、3Dに直接色を塗ります。
3. 【適用】をクリックしカットバックさせます。
4. 4 【マルチレベルカットバック】をクリックし【縮小した形状を再縮小】にチェック (\*図2) 最初のカットバックが残された状態で色塗りが可能になります
6. 2 部分収縮で再度色塗りを実行
7. 【適用】をクリックすると、重ねてカットバックされます。



【新規デザインを開始する】

カットバックフレームをデザインします

【必要に応じてスキップできます】

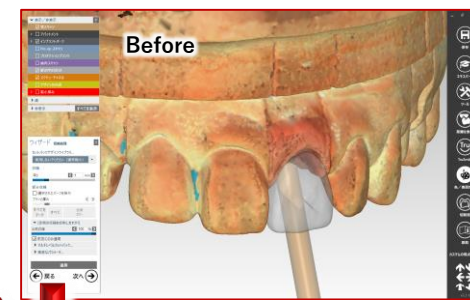
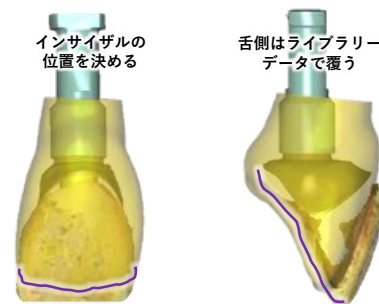
【マメロン形状のカットバックフレームをデザインします】

## POINT ライブラリーの位置合わせ

挿入したライブラリーデータの位置から、マメロンのインサイザル計算がされます。歯の挿入項目の段階で、インサイザルの位置を合わせておく必要があります。

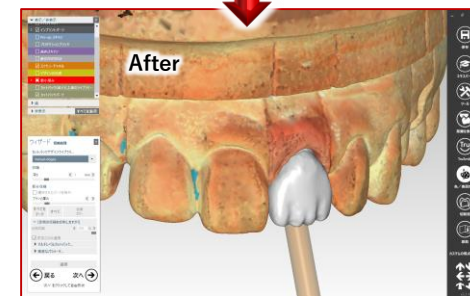
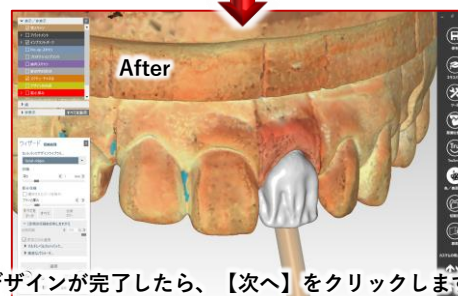
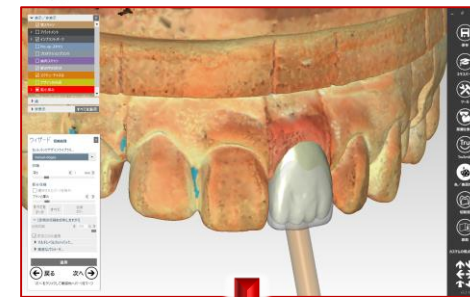
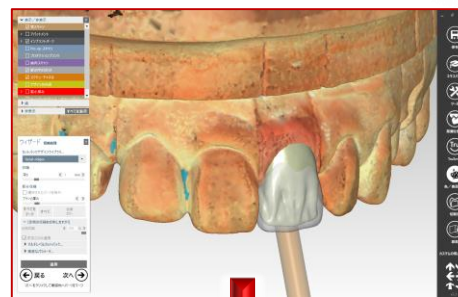
ワックスアップからデザインを行う場合、多くの場合で舌側部分のデザインは変更しないケースがほとんどです。ライブラリーデータがワックスアップデータよりも小さい場合、このカットバック機能は、ライブラリーデータに合わせますので、ワックスアップデータに合わなくなります。

舌側をワックスアップに合わせる場合は、あらかじめ、舌側をライブラリーデータが覆うように位置を設定しておく、処置前モデル(ワックスアップ)に合わせてきます。



【Facial-ridges】

【incisal-ridge】



デザインが完了したら、【次へ】をクリックします。

ウィザード 収縮処理

1 カットバックデザインライブラリー...

使用しないでください (通常縮小)

収縮

深さ < 1 mm >

部分収縮

選択されたパーツを除外

プランの厚み < >

すべてをマーク すべて 舌側カラー

▼ [舌側の収縮を抑制しますか?]

舌側収縮 < 100 % >

前歯にのみ適用

▶ マルチレベルカットバック...

▶ 高度なパラメータ...

2 適用

← 戻る 次へ →

\*次へをクリックして収縮



1 【カットバックデザインライブラリー】：  
マメロン形状のカットバック量を調整します。

【Facial-ridges】と【incisal-ridge】の2通りから選択し、  
2 適用ボタンからカットバックを行います。

## POINT マメロンのカットバック

挿入したライブラリーデータの位置から、計算されます。歯の挿入項目の段階で、インサイザルの位置を合わせておく必要があります。

カットバックしたくない部位もカットバックされる場合があります。エキスパートモードから【処置前モデルの適用】や【部分収縮機能】を併せて使用することで、インサイザルカットバックのみを適用させることができます

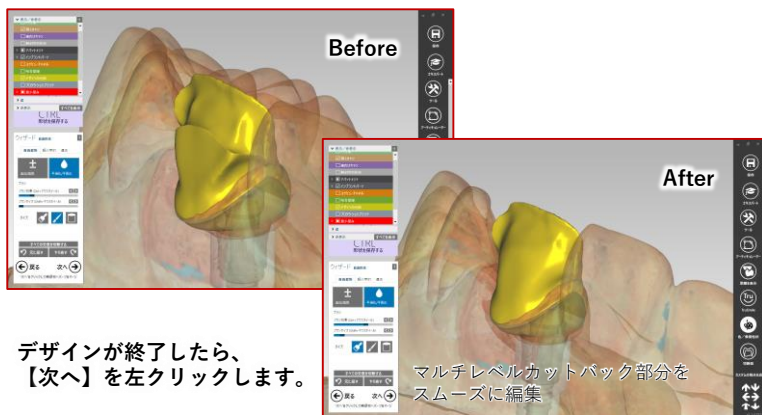
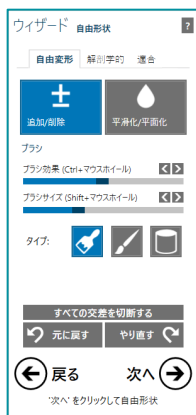


【新規デザインを開始する】

カットバックフレームをデザインします  
デザインの結合・完了

【フリーフォームデザイン】

クラウンの外形デザイン同様の操作で、カットバックフレームの自由変形デザインが可能です。必要に応じてデザインを行います。【必要に応じスキップできます】



デザインが終了したら、  
【次へ】を左クリックします。

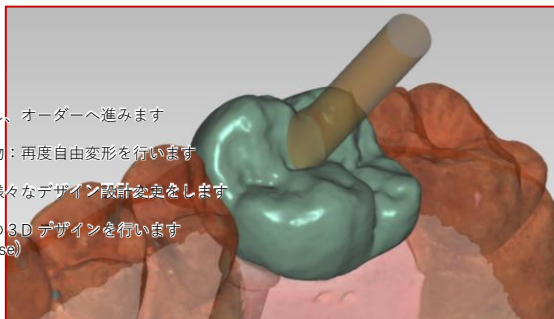
マルチレベルカットバック部分を  
スムーズに編集

【デザインを結合します】

デザインを結合し、デザインの確定や再設計を行います

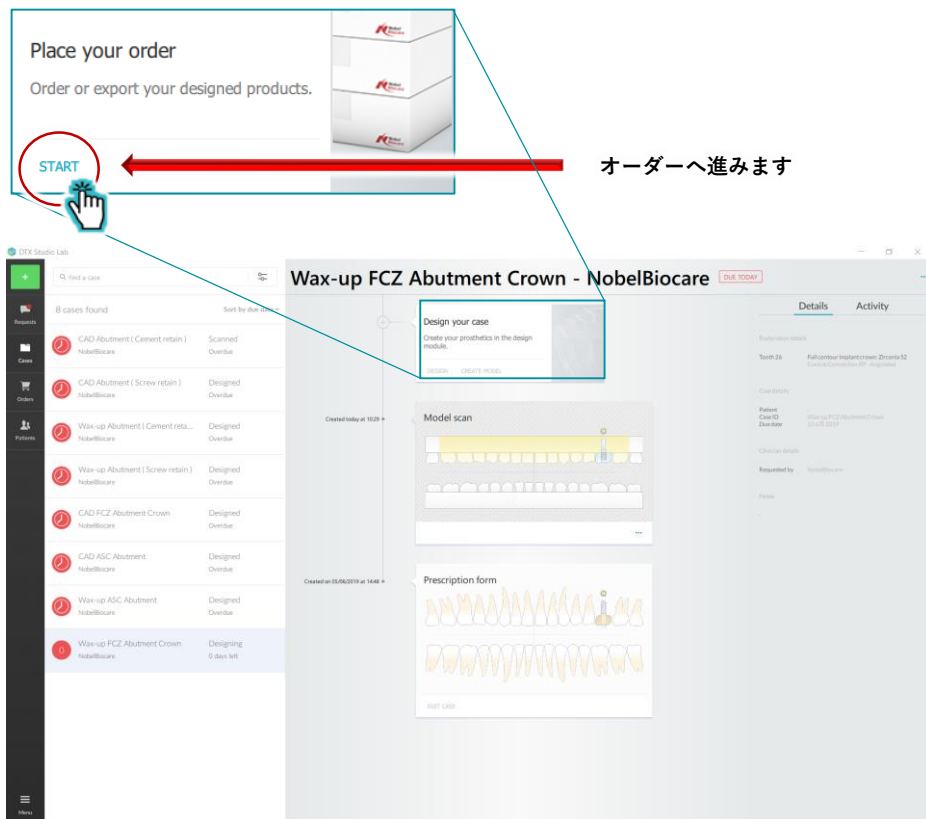


完了：デザインを確定し、オーダーへ進みます  
フリーフォームの修復物：再度自由変形を行います  
エキスパートモード：様々なデザイン設計実装をします  
模型のデザイン：模型の3D デザインを行います (ModelCleator/要License)



【オーダーを行います】

デザインが完了すると、DTX STUDIO Lab ソフトウェア・フラットファームへ画面が戻ります。オーダーウィンドウが表示され、オーダーへ進めます。



オーダーへ進みます



GMT xx Nobel Biocare Services AG, 2019. All rights reserved. Distributed by: Nobel Biocare. DTX Studio, Nobel Biocare, the Nobel Biocare logotype and all other trademarks are, if nothing else is stated or is evident from the context in a certain case, trademarks of Nobel Biocare. Please refer to [nobelbiocare.com/trademarks](https://nobelbiocare.com/trademarks) for more information. Product images are not necessarily to scale. Disclaimer: Some products may not be regulatory cleared/released for sale in all markets. Please contact the local sales office for current product assortment and availability. For prescription use only. Caution: Federal (United States) law restricts this device to sale by or on the order of a licensed dentist. See Instructions for Use for full prescribing information, including indications, contraindications, warnings and precaution